



SmartMask

選択範囲の作成を簡単にします



akvis.com

CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- ライセンス比較
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - マスク表示モード
 - カスタム背景
 - ヒストリーパレット
 - AKVIS ファイル
 - 環境設定
 - ホットキー
 - 印刷
 - 自動モード
 - 手動モード
 - クイック選択ツール
 - 標準選択ツール
 - マジックブラシ
 - クロマキー
 - エッジの調整
 - 後処理ツール
 - その他のツール
- 操作例
 - 写真から人物を切り取る
- AKVISプログラム

SMARTMASK V.11.0 | 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMaskは、作業時間を節約でき、楽しく使える効果的な選択ツールです。

画像内の特定の領域をターゲットとして指定する必要がある場面は多々あるでしょう。効果や修正を適用する単純な領域を数多く指定(ハイライト)する必要があります。フォトコラージュやフォトモンタージュの作成には、オブジェクトを正確に選択する必要があります。しかし、境界が明確ではなく、背景に紛れてしまうオブジェクトがほとんどで、選択作業は骨の折れる作業です。試しに、集合写真でご自分を選択してみてください。

AKVIS SmartMaskでは、複雑な選択も非常に簡単になります。これで、オブジェクトの選択作業にかかる時間が短縮され、よりクリエイティブな部分に多くの時間を使うことができます。



複雑なオブジェクトの抽出も楽々!

画像内のオブジェクトのマスキングや背景の除去を行うための強力なツールを提供します。作成する選択範囲は様々で、エッジ部分が鮮明なものもあればぼかしたものも作成できます。数回のクリックだけで、綿毛、髪の毛、木の枝、ガラスの選択や透明なベールを指定できます。本プログラムは、切り取りオブジェクトに残った色のかげり(色合い)までもを取り除くことができます。



素晴らしいツール

利用可能な画像処理モードには、範囲の自動認識アルゴリズムを使用する *自動モード* と、必要な部分に自由に仕上げの手を入れることのできる便利なブラシが含まれている *手動モード* の2種類があります。

直感的なインターフェースが使用されているため、作業中は図工の時間の子供のような気分になります。*自動モード* には、2つの鉛筆(赤色と青色)があります。選択したいオブジェクトの内側に青色鉛筆で線を描き(例えば、集合写真の自分)、そのオブジェクトの外側に赤色鉛筆でいくつかの線を描いて、切り取る領域(集合写真の自分以外の人達)を定義します。プログラムがあなたの意図を読み取り、境界線をしっかり検知しながら、選択範囲を決定してくれます。

簡単な画像の場合、鉛筆ツール だけでも十分プロ仕様の結果が期待できます。手動モードで利用可能な別の便利なツールに *クイック選択ツール* は、とても強力なツールで、数回のクリックで範囲を自動的に選択できます。

選択したオブジェクトが背景と似た色範囲の場合や、オブジェクトのエッジが不規則な場合、マジックブラシや *背景用消しゴム* などの加工ブラシを使用することができます。

弊社の他の製品同様、SmartMaskは操作が簡単だけでなく、楽しくご利用いただけるソフトです。画像処理の退屈になりがちな作業を楽しいものにしてくれます。



選択にかかる時間を減らし、創作により多くの時間を活用できます!

選択の作業は、デザイナーの仕事でもかなりの時間をとるものです。しかし、AKVIS SmartMaskを使えば、生産性を大幅に伸ばすことができます。単調な作業から開放され、アイデアの考案やアイデアを実際に作品に取り入れるための時間が十分に取れます。



作業の保存

ソフトウェアでの作業中、作業内容を **.akvis** ファイルに保存することができます。AKVISファイルには、元のイメージ、保存時のイメージの状態、パラメーターや設定に加え、Deluxe/Business 版では、作業中に手動で追加(作成)したチェックポイントが含まれます。この便利な機能は、特にプロの写真家から好評です。

AKVIS SmartMask は、スタンドアロンプログラムとして、またフォトエディターのプラグインとしても使用できます。プラグイン版は、[AliveColors](#)、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、Corel PaintShop Proや他の[フォトエディター](#)と互換性があります。

インストール

AKVIS SmartMaskをWindowsでインストールするには、次の指示に従います。

- **exe**をダブルクリックします。
- 言語を選択して、**[次へ]**をクリックして続行します。
- インストールを継続するには、ライセンス合意書を読み、同意する必要があります。ライセンス合意書に同意する場合は、**[使用許諾契約の条項に同意します]**チェックボックスを選択し、**[次へ]**をクリックします。



- リストから使用しているフォトエディタを選択し、**[次へ]**をクリックします。 リストにフォトエディタがない場合は、**[Custom Plugins Directory]**をクリックで選択し、**[変更]**からC:\Program Files\Corel\...\Pluginsのような、フォトエディタのプラグインフォルダを選択します。

スタンドアロン版をインストールするには、**[Standalone]**を選択します。



- **[インストール]**をクリックしてAKVIS SmartMaskのインストールを開始します。



- インストールが開始されます。



- インストールが完了しました。
- AKVIS ニュースレターを購読することができます。購読を希望する場合は、メールアドレスを入力してください。



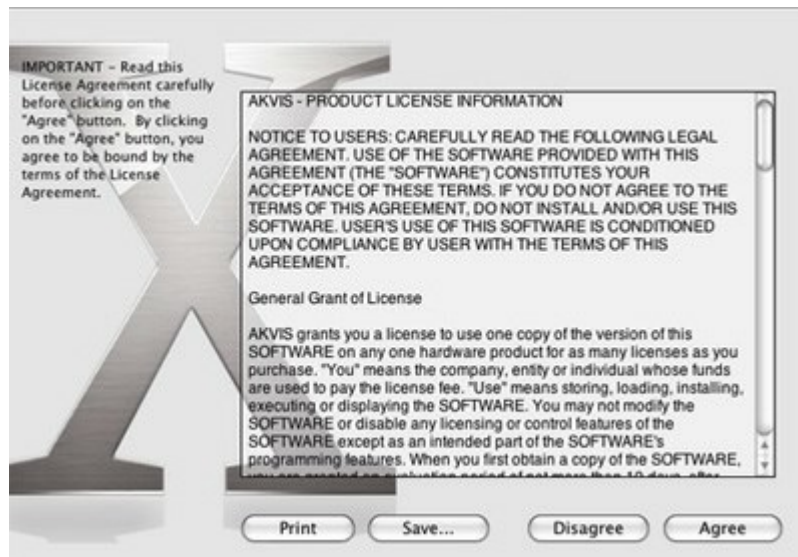
- **【完了】**をクリックしてセットアップを終了します。

スタンドアロン版の**AKVIS SmartMask** のインストールが完了すると、[スタート]メニューに[AKVIS -SmartMask]という新しいメニュー、およびデスクトップ上にショートカットが作成されます。

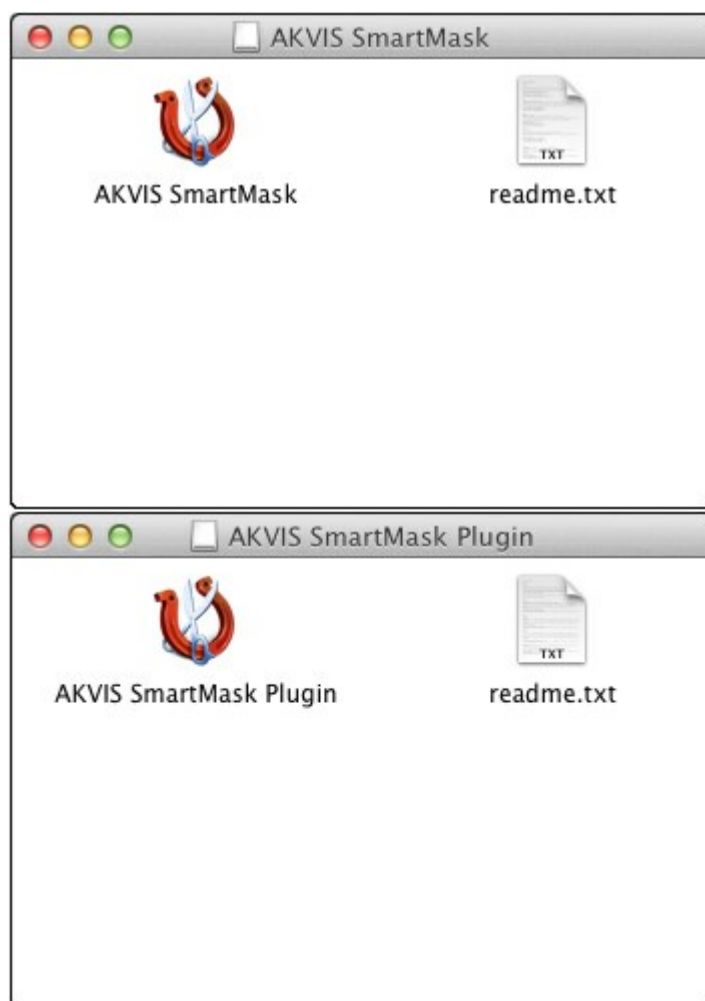
AKVIS SmartMask のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ]([効果])メニュー内に[AKVIS] > [SmartMask]という新しいメニューが表示されるようになります。

インストール

- 仮想ディスクを開く:
 - **akvis-smartmask-app.dmg** (SmartMaskのスタンドアロン版をインストールする場合)
 - **akvis-smartmask-plugin.dmg** (Photoshopを使用する場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は[Agree]をクリックします。



- Finderが開き、[AKVIS SmartMask App]または[AKVIS SmartMask PlugIn]フォルダが表示されます。



- スタンドアロン版をインストールするには、[AKVIS SmartMask App]を[Applications]フォルダにドラッグします。
プラグイン版をインストールするには、[AKVIS SmartMask Plugin]を(フォルダごと)[Plug-Ins]フォルダにドラッグします。
たとえば、Photoshop CC 2019を使用する場合、[AKVIS SmartMask Plugin]フォルダを[Applications/Adobe

Photoshop CC 2019/Plug-Ins]に移動します。

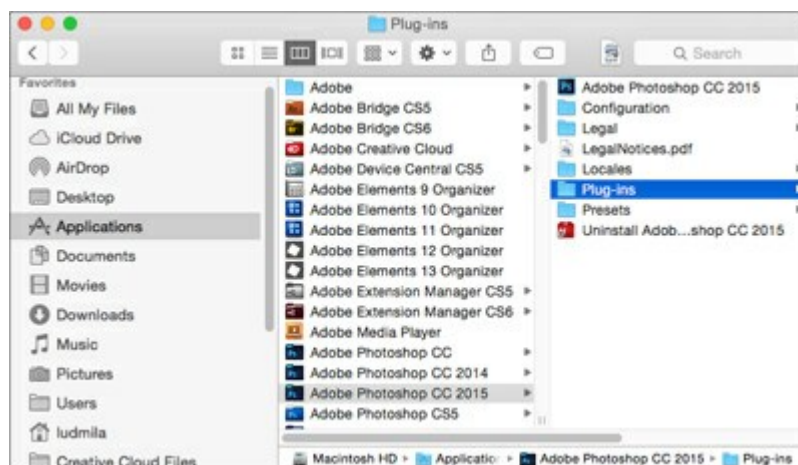
Photoshop CC 2018: [Applications/Adobe Photoshop CC 2018/Plug-Ins]。

Photoshop CC 2017: [Applications/Adobe Photoshop CC 2017/Plug-Ins]。

Photoshop CC 2015.5: [Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC]。

Photoshop CC 2015: [Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-Ins]。

Photoshop CS6: [Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins]。



AKVIS SmartMask Plugin のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ]([効果])メニュー内に[AKVIS] > [SmartMask]という新しいメニューが表示されるようになります。

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーション(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照してください)も提供しています。

このウィンドウはAKVIS SmartMaskを起動すると表示されます。プログラムの実行中に  をクリックして開くこともできます。

また、Adobe Photoshopでは、[ヘルプ] > [プラグインについて] > [SmartMask]から(Macでは[Photoshop] > [Plug-Inについて] > [SmartMask])から開けます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**【無料トライアル】**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

プログラムの機能はライセンスの種類によって異なりますので**注意**してください。**試用期間**中にすべての機能を試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。**バージョン情報**ウィンドウでは、**Home**(プラグインまたはスタンドアロン)、**Deluxe**、または**Business**のいずれかから試用するタイプを選択できます(各ライセンスを選択すると、その下にタイプの特長が簡単に説明されます)。選択するライセンスによってAKVIS SmartMaskで利用できる機能が異なります。

ライセンスの種類やSmartMaskのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

購入ボタンをクリックすると、購入ページへ移動しますので、プログラムを選択し、アクティベーションすることができます。

購入手続きが完了すると、シリアル番号が電子メールで送信されます。

【バージョン情報】ウィンドウで**【アクティベート】**をクリックし、アクティベーション処理を開始します。

AKVIS SmartMask バージョン 8.0.1985.13276-r (64bit) 

アクティベーション

お客様名:

シリアル番号:

☒ アクティベーション サーバーへの直接接続
☐ 電子メールでリクエストを送信

シリアル番号をわすれた場合、[こちら](#)からリストアできます。

アクティベーションで問題が生じた場合、[お問い合わせ](#)ください。

[HWMID](#)をコピーします。



アクティベート



キャンセル

©2004-2016 AKVIS. All rights reserved

お客様名を入力します(プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号を入力します。

アクティベーション方法(アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール)を指定します。

アクティベーションサーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]ボタンをクリックします。

これでアクティベーションは完了です。

電子メールでリクエストを送信:

メールでのアクティベーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されているSmartMask.licファイルを、このヘルプ一番下の「注意」に書かれている場所に置いてください。

インターネット接続環境がない場合、以下の手順でアクティベーションを行ないます。

アクティベーション方法として、**メールでのアクティベーション**を選択します。お使いのメール プログラムにより、必要な情報が記載されたアクティベーション用メールを作成します。 作成したメールをUSBなどに保存し、インターネットに接続されたコンピュータにデータを移動させます。

メール内容を変更せずにそのまま送信します。

スクリーンショットを添付しないでください！ テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、コンピュータのハードウェアID、お客様名です。

これらの情報を元に、ライセンスファイル(**SmartMask.lic**)を作成し、返信いたします。

メールでのアクティベーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されている**SmartMask.lic**ファイルを以下のフォルダに置いてください。

- **Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10の場合:**

Users\Public\Documents\AKVIS;

- **Mac**の場合:

Users/Shared/AKVIS.

これでアクティベーションは完了です。

既にライセンスをお持ちの場合は、価格の差額を支払うことで、いつでもアップグレードすることが可能です。**[アップグレード]**ボタンをクリックするとアップグレード処理が始まります(プログラムのアクティベーションが済んでいる場合に**[購入]**ボタンの代わりに表示されます)。

SMARTMASK V.11.0 | 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask を使用すると、難しい選択範囲作成作業をととても簡単にします。選択範囲作成にかかる時間が短縮される分、創造的な作業に時間を使うことができます。

ライセンス比較:	Home (Plugin)	Home (Standalone)	Home Deluxe (Plugin + Standalone)	Business (Plugin + Standalone)
使用目的				
非商用	✓	✓	✓	✓
商用	—	—	—	✓
エディション				
Plugin 📌	✓	—	✓	✓
Standalone 📌	—	✓	✓	✓
機能				
自動モード	✓	✓	✓	✓
手動モード	✓	✓	✓	✓
クロマキー	—	—	✓	✓
エッジの調整	—	—	✓	✓
カスタム背景	—	✓	📌	📌
後処理ツール	✓	✓	✓	✓
ヒストリーパレット	—	—	✓	✓
AKVIS ファイル	✓	✓	✓	✓
共有	✓	✓	✓	✓
印刷	—	✓	📌	📌
拡大フォーマットで印刷	—	✓	📌	📌
EXIF, IPTC	—	✓	📌	📌
カラースペース				
RGB	✓	✓	✓	✓
CMYK	✓	✓	✓	✓
Lab	✓	✓	✓	✓
Grayscale	✓	✓	✓	✓
8 / 16 bits	✓	✓	✓	✓
32 bits	—	✓	📌	📌
イメージフォーマット				
AKVIS	✓	✓	✓	✓

TIFF	✓	✓	✓	✓
JPEG	✓	✓	✓	✓
BMP	✓	✓	✓	✓
PNG	✓	✓	✓	✓
RAW	✓	✓	✓	✓
DNG	✓	✓	✓	✓
PSD	✓	—	✓ 🔌	✓ 🔌
OS				
Windows 7、8、8.1、10 - 32-bit、64-bit	✓	✓	✓	✓
Mac OS 10.11、macOS 10.12-10.14 - 64-bit	✓	✓	✓	✓
10 日間の評価期間	✓	✓	✓	✓
価格	\$ 69	\$ 69	\$ 90	\$ 120

ワークスペース

AKVIS SmartMask は、スタンドアロン プログラム、また Photoshop 互換のプラグインとしても使用できます。

- スタンドアロン は独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法:

Windows コンピューターの場合: **【スタート】** メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

Mac コンピューターの場合: **【アプリケーション】** フォルダーからアプリを起動します。

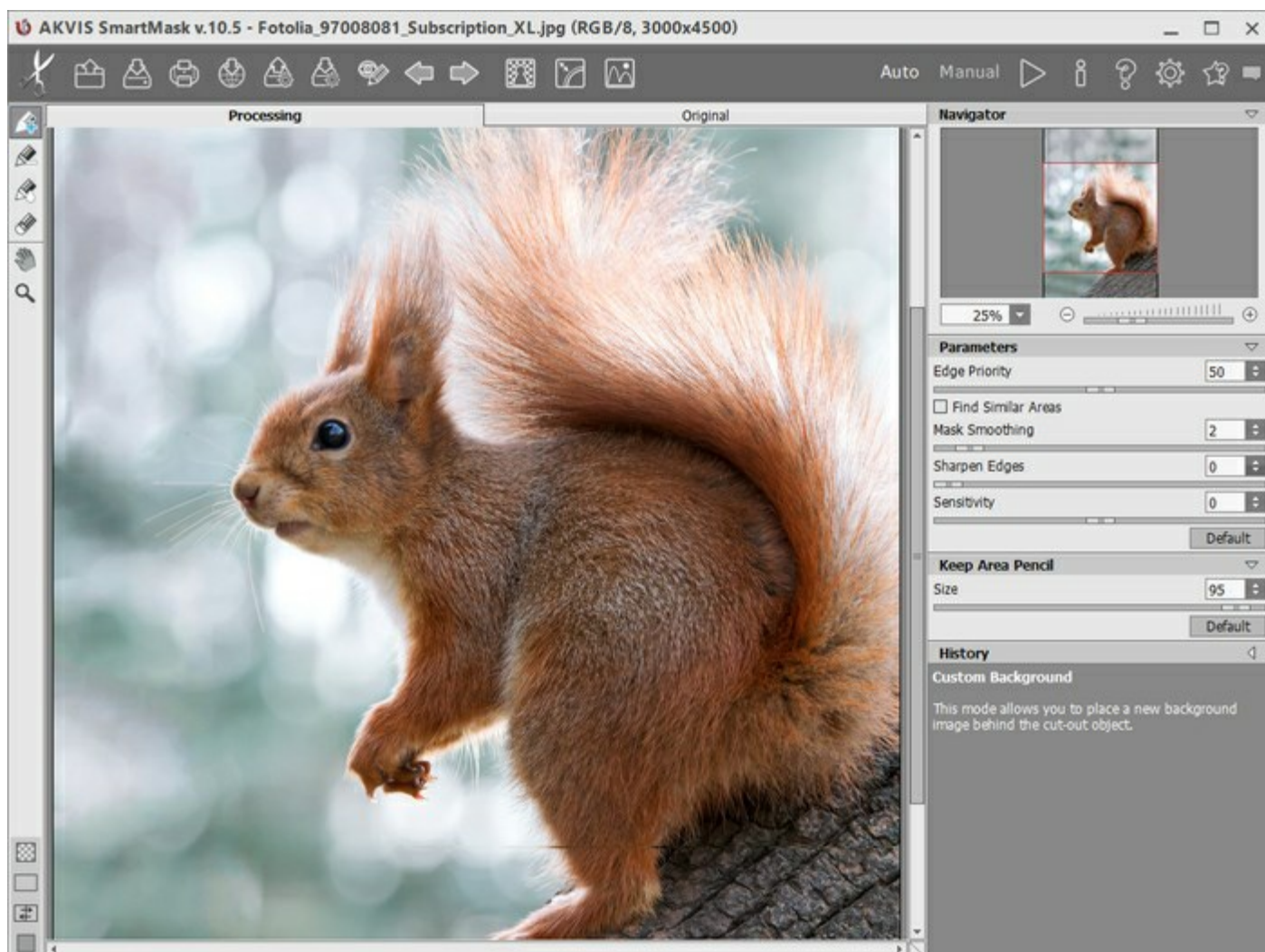
- プラグイン は、Photoshop等の **フォトエディター**のアドオンとして動作します。

プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターの **フィルター**から**選択** します。

注意: プラグインを呼び出す前に、別のレイヤーにイメージをコピーしておく必要があります(レイヤーを複製)。または、レイヤーのロックを解除してください。

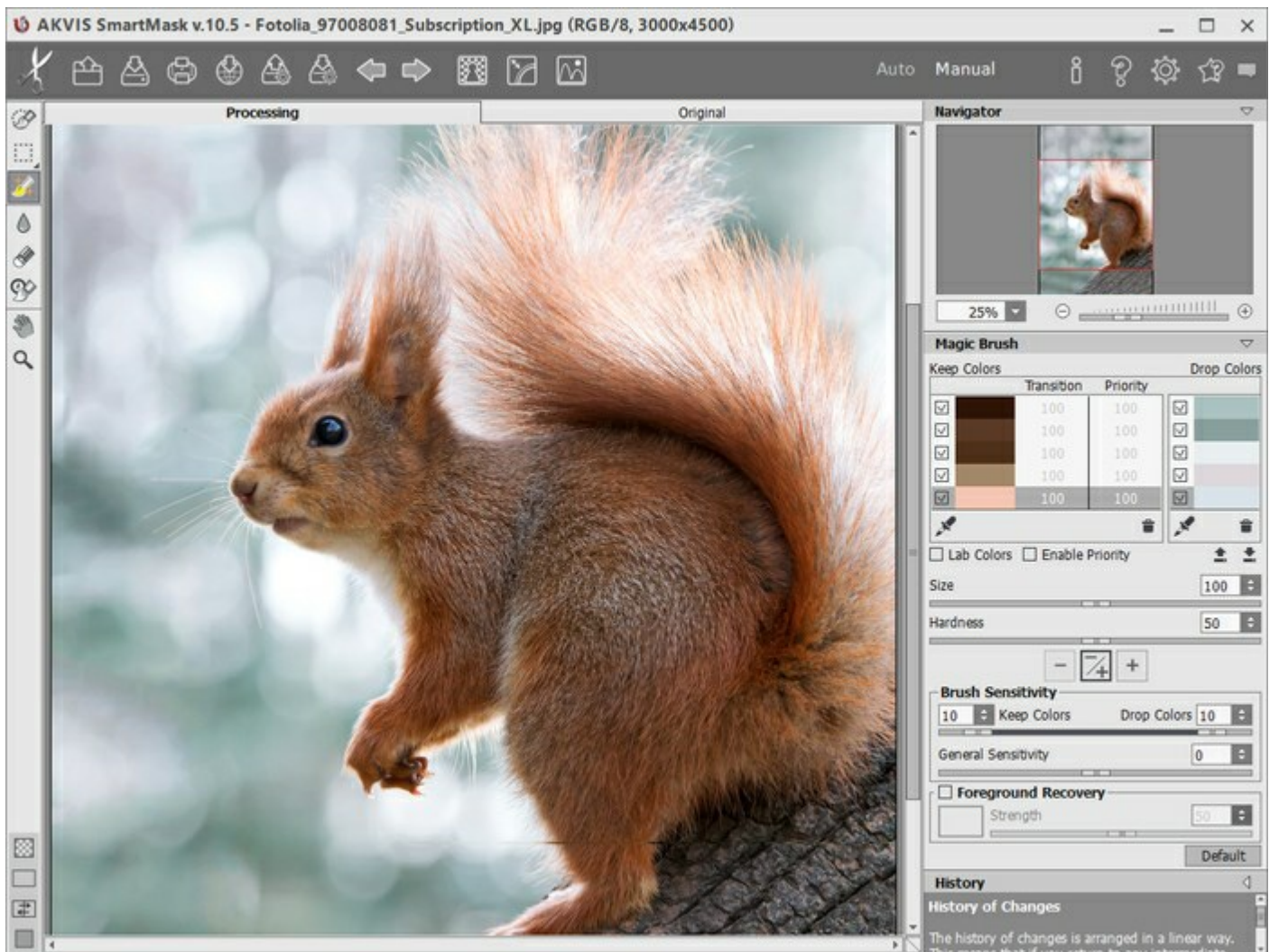
ワークスペースの配置は、**自動**または**手動**、どちらのモードを選択するかによって異なります。

自動 モードには、選択を **自動的に**行うためのツールが含まれています。このモードは、コントラスト レベルが良く、エッジが鮮明なイメージにぴったりのモードです。複雑なオブジェクトの処理を行う際の最初の段階で使用することもできます。



AKVIS SmartMaskのワークスペース(自動モード)

手動モードには、選択するための便利な **スマートブラシ**ツールが含まれています。これらのツールは、単色で形もシンプルなオブジェクトを手早く選択したい場合や逆に複雑なオブジェクト(ガラス要素、木、食器、泡など)を選択する場合などに使用できます。これらのブラシを使って、自動モードでの処理結果をより良いものになるよう編集することができます。



AKVIS SmartMaskのワークスペース(手動モード)

プログラムのワークスペースの大部分を占める **イメージ ウィンドウ** は、**【処理前】**と**【処理後】**の2つのタブで構成されています。すべての処理は **【処理後】** タブ内で実行されます。タブの表示方法の変更は、**画像表示モード**の変更で行えます。

プログラムのウィンドウの上部には、**コントロールパネル** があります。



: **AKVIS SmartMask**のホームページに移動します。



: 編集するイメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。このボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの**【環境設定】**で変更することもできます。



: 処理したイメージをディスクに保存します(スタンドアロン版のみ)。



: イメージを印刷します(スタンドアロン版のみ)。



: プログラムから、写真をソーシャル ネットワーク上に投稿できます。



: **プロジェクトを保存** します (**.akvis**拡張子ファイル)。



: **保存したプロジェクト** (**.akvis** ファイル)を読み込みます。



: **自動** モードの場合のみ、描画したストロークの表示/非表示を切り替えます。



: 各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。



: 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。



: 自動モードの場合にのみ、画像処理を始めます。

- : プラグイン版の場合にのみ、結果を適用し、AKVIS SmartMaskのウィンドウを閉じて、選択したオブジェクトをフォトエディターのワークスペースに表示します。
- : プログラムに関する情報を含む、バージョン情報ウィンドウを開きます。
- : ヘルプファイルを呼び出します。
- : プログラムのオプション設定を変更するための **【環境設定】** ダイアログボックスを開きます。
- : 操作例パネルが開き、ビデオ チュートリアルや操作例などを確認できます。
- : このボタンは、SmartMaskに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

コントロール パネルには、次の3つのモードが用意されています。

クロマキーモード  は、**Deluxe と Business** ライセンスのみで使用でき、時間をかけることなく、単色のクロマキー背景を除去します。

エッジの微調整モード  は、**Deluxe と Business** 版でのみ利用可能ですが、選択範囲のエッジや切り取りオブジェクトを簡単に編集するのに便利です。

カスタム背景モード  では、切り取ったフラグメントをカスタム背景に挿入できます。

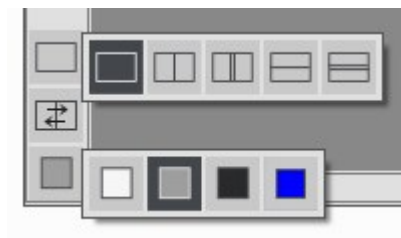
イメージ ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。表示されるツールは、選択されているワークスペースのモード (**自動/手動**) によって異なります。各ツールのパラメーターは設定パネル、またはイメージウィンドウ内を右クリックした場合に表示されるポップアップメニューに表示されます。

すべてのツールや操作に対して **キーボードショートカットを設定** (「ホットキー」ともいう) することができます。

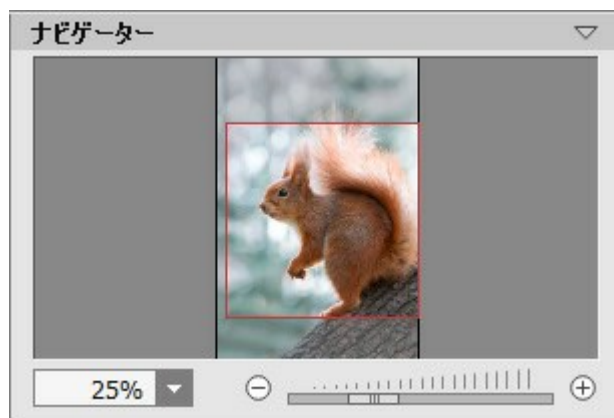
左側パネルの下部で **マスクの表示モード**を切り替えることができます。



さらに、**画像表示モード**を表示することもできます。



イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには **ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター** の赤枠で囲まれた領域は、現在メイン ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になります。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲーターをクリックすると、表示/非表示を切り替えられます。

さらに、スクロールバーを使ったり、キーボードのスペースバーとマウスの左ボタンを押しながらイメージをドラッグし、**イメージ ウィンドウ** 内のイメージをスクロールできます。マウスのスクロールホイールを使うとイメージは上下に動き、**Ctrl** (Macでは ⌘) を押しながらの場合は左右に動き、**Alt** キー (Macでは**Option**) を押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーまたは $\oplus$ や $\ominus$ を使用して、イメージを拡大/縮小することができます。 $\oplus$ をクリックするか、スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。 $\ominus$ をクリックするか、スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。さらに、[拡大/縮小] 欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

ズームインやズームアウトに、**ホットキー** を使用することもできます。

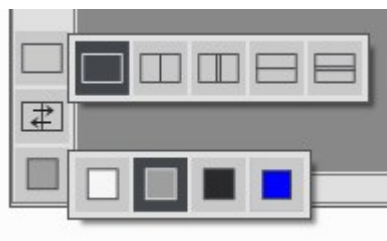
ナビゲーター の下には、指定モードのパラメーターとツール オプションを含む **設定パネル** が表示されます。**[既定値に戻す]** ボタンをクリックするとパラメーターの値が初期設定値に戻ります。

履歴 パレット (**Home Deluxe**と**Business版** でのみ利用可能)には、ファイルに対して行われた変更が一覧表示されています。リスト内のアイテムをクリックすると、その状態にまで戻すことができます。

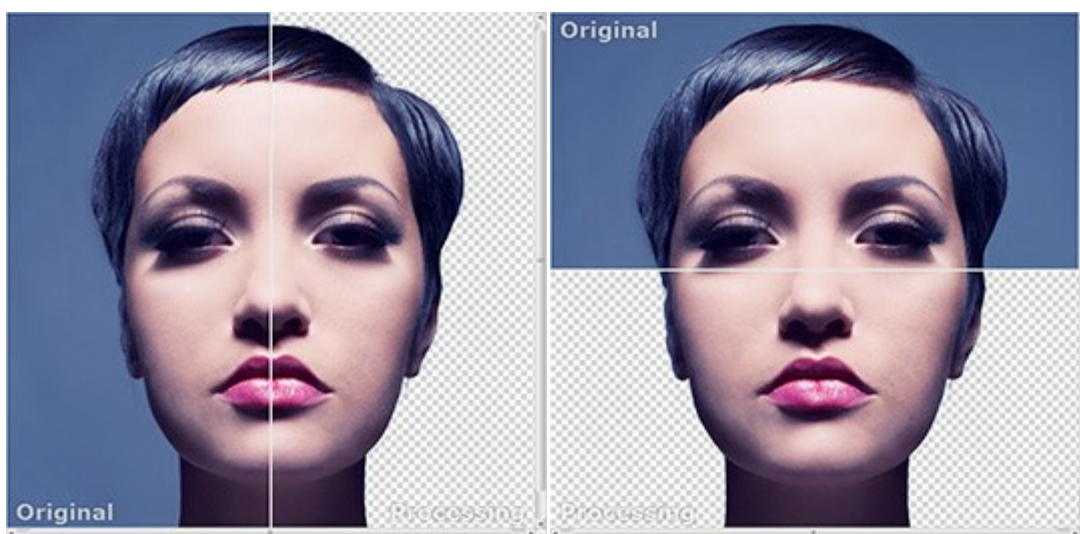
設定パネル の下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に **ヒント** が表示されます。**[環境設定]**ダイアログボックスでは、ヒントの表示位置や表示/非表示の設定を行うことができます。

イメージの表示モード

ツールバーの下部には、イメージウィンドウの表示に関する3種類のボタンがあります。

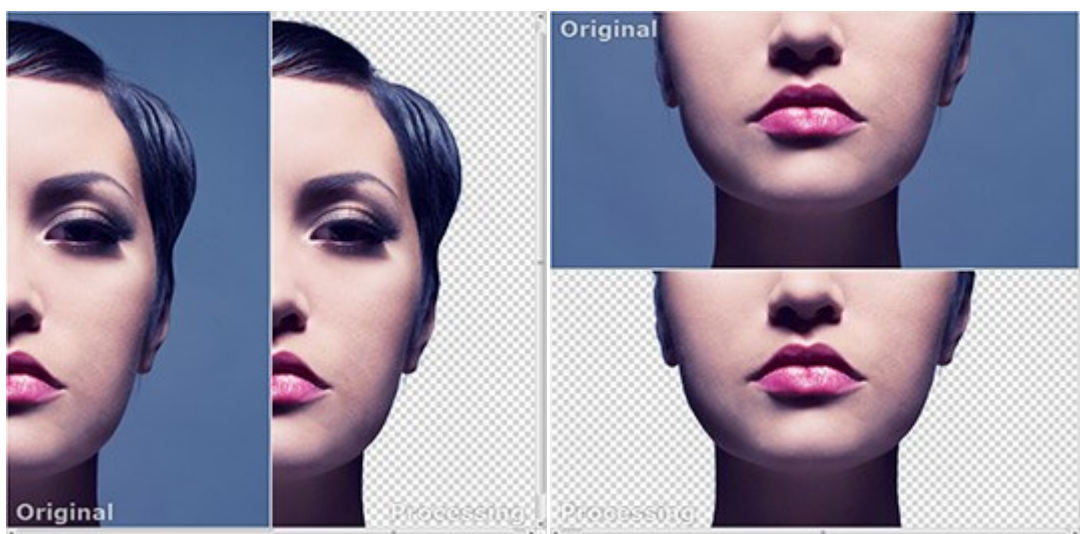


- 一番上のボタンは、元の画像と処理後の画像の表示方法に関するサブメニューが表示されます。
 - ボタンは、標準的なイメージウィンドウで、**[元のイメージ]**タブと**[処理中]**タブを切り替えることができます。
 - と は、縦もしくは横に分断されたイメージウィンドウになります。元のイメージと処理後のイメージが両方とも部分的に表示されます。**[元のイメージ]**および**[処理中]**の2つのタブが1つのイメージウィンドウを構成します。



この配置によって、**[元のイメージ]**と**[処理中]**の縦横比を変えてスプリッターをドラッグすることができます。

- と も、縦もしくは横に分断されたイメージウィンドウになります。しかし、前述のものとは異なり、元のイメージと処理後のイメージの同じ部分が表示されます。



注意: 一度に同じ画面で元のイメージと処理結果を比較したい場合には、半分のウィンドウを選択します。処理後のイメージを全体としてみたい場合には、最初に挙げた標準的なイメージウィンドウを選択します。

- は分割ウィンドウで表示している場合において、元のイメージと処理後のイメージの位置を入れ替えます。

-
- 一番下のボタンは、イメージウィンドウの背景色を選択します 、、 のいずれかをクリックすると、背景色が白、グレー、黒に変わります。 をクリックすると、**【色の選択】**ダイアログが表示され、背景色を任意の色に変更できます。

プログラムの使用方法

AKVIS SmartMask は、作業時間を節約でき、楽しく使える効果的な選択ツールです。スタンドアロン プログラムとして、またフォトエディターのプラグインとしても使用できます。

AKVIS SmartMaskを使用してオブジェクトを切り取るには以下の作業を行います。

ステップ1: イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

空のワークスペースをダブルクリックするか、コントロール パネル の  をクリックすると、**【ファイルを開く】**ダイアログボックスが表示されます。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。

AKVIS SmartMask のスタンドアロン版は、**BMP、JPEG、PNG、TIFF、RAW、AKVIS** の各ファイル形式をサポートしています。

プラグイン版で作業する場合:

お使いのフォトエディターでイメージを開くには、**【ファイル】 > 【開く】** コマンドを実行するか、**Ctrl + O**を同時に押し。

AKVIS SmartMask のプラグイン版を起動します。

AliveColorsの場合、[効果] > [AKVIS] > [SmartMask];
Adobe Photoshopの場合、[フィルタ] > [AKVIS] > [SmartMask]、
Corel Paint Shop Proの場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [SmartMask]、
Corel Photo-Paintの場合、[効果] > [AKVIS] > [SmartMask]。

注意: プラグインを呼び出す前に、別のレイヤーにイメージをコピーしておく必要があります(レイヤーを複製)。または、レイヤーのロックを解除してください。

ステップ2: 最初にプログラムを起動した場合、**自動** モードになっています。選択を自動的に行うためのツールが含まれているモードです。このモードは、コントラスト レベルが良く、エッジが鮮明なイメージにぴったりなモードです。複雑なオブジェクトの処理を行う際の最初の段階で使用することもできます。



AKVIS SmartMask のワークスペース(自動モード)

コントロールパネルで **手動** モードに切り替えると、インターフェイスが変わり、スマートブラシ ツールにアクセスできるよう、アイコンが表示されます。これらのツールは、単色で形もシンプルなオブジェクトを手早く選択したい場合や逆に複雑なオブジェクト(ガラス要素、木、食器、泡など)を選択する場合などに使用できます。このツールを使って、**自動** モードでの処理結果をより良いものになるよう編集することができます。



AKVIS SmartMaskのワークスペース(手動モード)

選択は **自動** また **手動** のいずれのモードでも使用できますが、一緒に使用する場合は、順番に注意してください。

注意: [自動] モードの状態ではパラメーターの調整やラインを書き直しを行い、処理を再度実行した場合、手動で使用したツール(スマートブラシ)編集は失われます。そのため、必ず、**[自動]** モードの後に **[手動]** モードを使用するという順番を守ってください。

ステップ3: 単色のクロマキー背景を除去するには、**クロマキー** モードを使用します(**Home Deluxe** と **Business** ライセンスのみ)。

ステップ4: **エッジの微調整** モードは、**Deluxe** と **Business** 版でのみ利用可能ですが、選択範囲のエッジや切り取りオブジェクトを簡単に編集することができます。

ステップ5: 切り取りオブジェクトをカスタム背景に追加する場合は、**カスタム背景** モードを有効にする必要があります(スタンドアロン版のみ)。

ステップ6: **プロジェクトの保存** を **.akvis** ファイルで行う場合は、 をクリックします。読み込みは  を使用します。

AKVIS ファイルには、元のイメージ、編集途中のイメージ、ツールのパラメーター、色グループ、そして作成されている場合は、**チェックポイント** (**Deluxe/Business** 版のみ)が含まれています。

ステップ7: イメージを共有するには、 をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧が表示されます。

スタンドアロン版では、**印刷** を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

ステップ8: 処理したイメージを保存します。

スタンドアロン版で作業する場合:



をクリックすると、**[名前をつけて保存]**

ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類

(**TIFF**、**BMP**、**JPEG**、**PNG**、**AKVIS**) を選択し、保存先フォルダーを選択します。

注意: 塗りつぶし背景 オプションを選択した場合、画面に表示されている通り、選択した色の背景上に結果が保存されます。

選択オブジェクトを透明な背景に保存する場合、該当するマスク表示モードを選択し、画像保存時に **PNG** 形式(もしくは透過をサポートする他の形式)を使用してください。

プラグイン版で作業する場合：



をクリックして結果を適用し、プラグイン ウィンドウを終了します。 **AKVIS SmartMask** プラグインが終了し、フォトエディターのワークスペースに画像が表示されます。

【ファイル】 > 【名前を付けて保存】 コマンドを使用して **【名前を付けて保存】**ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行ないます。



結果

マスクの表示モード

SmartMask のツールバーでは、**マスクの表示モード**を変更して、切り取りオブジェクトを表示する背景を変更できます。

ボタンをクリックすると、様々なオプションを含むサブメニューが表示されます。



透明な背景 :

このモードは、透明な背景に処理後のイメージが表示されます。



塗りつぶし背景 :

このモードでは、選択した背景色上にイメージが表示されます。既定では背景がオレンジ色に設定されていますが、いつでも変更できます。変更するには、ボタンをポイントするとカラーパレット  が表示されるので、それをクリックして、色を選択してください。



カスタム背景 :

切り取りオブジェクトをカスタム背景に追加する場合は、**カスタム背景**モードを有効にする必要があります。



注意: 処理結果は、イメージ ウィンドウ画面に表示されている通り、選択した色の背景上に結果が保存/印刷されます。

選択オブジェクトを透明な背景に保存する場合、該当するマスク表示モードを選択し、画像保存時に **PNG**形式を使用してください。

グレースケール マスク :

このモードでは、不透過度が100%のピクセルはすべて黒で表示されます。不透明度が0%のピクセルは白で表示されます。不透明度が0%から100%の間のピクセルはグレーで表示されます。グレーが濃いほど、そのポイントの不透明度は高くなります。



未選択領域を検索 :

トリマップ方式を使用し、画像を次の3つの領域に分けます。

すべてのピクセルをブラック ポイントとして透過度 = 100%で表示します。ホワイト ポイントは、透過度 = 0%のピクセルです。グレーポイントは、その他のピクセル (0% < 透過度 < 100%)です。

このモードは、削除されているように見えて、実際には削除されていない領域を探すときに最適です。



カスタム背景

カスタム背景モード  は、スタンドアロン版でのみ利用でき、切り取りオブジェクトの背景を変更することができます。



背景を変更

【読み込み】ボタンをクリックすると、新しい背景画像を読み込みます。

【削除】ボタンをクリックすると、背景画像が削除されます。

アップロードされた背景画像は、設定パネルの以下のパラメーターを使用して調整できます。

不透明度（設定可能範囲は 50-100）：この補助パラメーターは、透明度を調整することで、フラグメントをより正確に配置できるようにします。最終結果には影響はありません。

【変形】タブには、背景画像や切り取ったフラグメントのサイズや位置を変更するための設定が含まれています。

フラグメント編集：チェックボックスを有効にすると、切り取ったオブジェクトの移動と変形を行うことができます。

サイズ：背景画像のサイズ変更は、**【幅】**と**【高さ】**フィールドを使用して行います。背景画像のサイズの変更は、画像の枠に表示されている 8つの四角いマーカーをドラッグして行うこともできます。縦横比を維持するにはリンク  をつなげます。リンクのアイコンが繋がっていない場合  は、高さと幅がそれぞれ拡大/縮小されます。

回転角度：背景画像の回転角度は、**A** フィールドで設定します。イメージ ウィンドウ内でマウスを動かすことで、イメージを回転させることができます。フレーム枠の外では、カーソルがカーブした両方向矢印  が表示されます。マウスの左クリックにより、イメージを時計回りまたは反時計回りに回転できます。**Alt** キーを押すと、回転角度は 5度刻みに行われます。

 をクリックすると、背景画像を反時計回りに90度回転させます。

オリジナル画像に合わせる  ：背景画像は、オリジナル画像にぴったり合うように拡大/縮小されます。

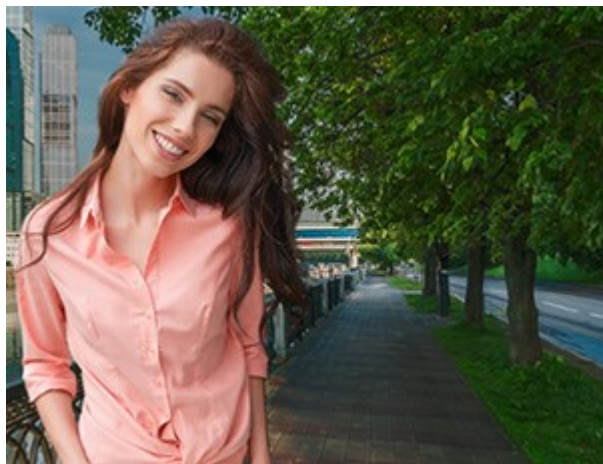
塗りつぶし  ：背景画像は、オリジナル画像を完全に覆うように拡大/縮小されます。

左右に反転  ：このオプションを使うと、背景が対称軸を中心に反転します(例えば、左右の入れ替え)。

上下に反転  : このオプションは、背景の上下を反転させます。

[修正] タブを使用して、背景画像の階調範囲を調整します。

明るさ (設定可能範囲は -100 から 100): イメージ内の色の明るさを変更します。高い値の場合は背景画像が明るくなり、低い値の場合は背景画像が暗くなります。



明るさ = -50



明るさ = 50

コントラスト (設定可能範囲は -100 から 100): 背景画像の明暗の違いを強めたり (0以上の値)、弱めたり (0以下の値) します。



コントラスト = -50



コントラスト = 50

彩度 (設定可能範囲は -100 から 100): イメージ内の色の強度を設定します。



彩度 = -50



彩度 = 50

ぼかし (設定可能範囲は 0-100): このパラメーターは、背景画像の鮮明度を低下させます。



ぼかし = 5



ぼかし = 50

変更を確定するには、**[OK]**をクリックします。変更を保存せずに終了する場合は、**[キャンセル]**をクリックします。イメージを元の状態に戻す場合は、**[デフォルト]**ボタンをクリックします。

履歴パレット

履歴 パネルは **Home Deluxe版**と**Business版** でのみ利用できます。 [機能の比較表を確認](#)。

ヒント: どのライセンスのユーザー(**Home/Home Deluxe/Business**) でも、 **元に戻す/やり直し**  **コマンドと履歴ブラシ ツール**  を使うことができます。

履歴 パレットは、ファイルへの変更すべてがリストとして表示されます。リスト内のアイテムをクリックすると、その状態にまで戻すことができます。

パネルをクリックすると、表示/非表示を切り替えられます。

イメージの **サムネイル** の右隣には、ファイル名、ファイルサイズ(ピクセル)、カラーモード、プロファイル、作成日時が表示されます。

変更の履歴は直線的に配置されています。つまり、途中の状態に戻って動作を適用した場合、それ以降の動作はコントロールポイント(リストの最上部に位置)以外すべて完全に削除されます。【**開く**】を選択すると、変更を加える前、プログラムに読み込んだときの状態に戻ります。



変更の履歴

すべての変更は対応するアイコンと共に表示されます。同じツールを用いた2つ以上の変更はグループにまとめられ、ツール名の右の数字はグループ内の変更の数を表しています。ツール アイコンの左隣に表示されている[+]をクリックしてグループを展開したり、折りたたんだりできます。

履歴 パレットの下部には次のボタンが配置されています。

- **指定位置の状況へ元に戻す/やり直し**ボタン  と  を使ってリスト内の2つの状況間を切り替えます。  と  ボタンは1段階前へ/後ろへ順番に移動するのにに対し、このボタンは最後の変更後に履歴をレストアできます。 **状態の削除**  または **グループ折りたたみ**  のコマンドを使用後に履歴をレストアする場合に、このボタンを使用できます。
- 各状態の保存は、**チェックポイント作成**ボタン  を使って、チェックポイントを使ってできます。各コントロールポイントには、連番の名前がつけられます (Checkpoint1、Checkpoint2 など)。チェックポイントには履歴がなくなりますが、加えられた変更を記憶しています。

チェックポイントの名前を変更する場合、チェックポイント名をダブルクリックし、新しい名前を入力後に **Enter** を押します。

チェックポイントの保存 をすると共に、画像の現状を **.akvis** 拡張子のファイルに保存できます。

- **状態の削除**ボタン  を押すと、選択されたもの以降すべての状態が削除され、チェックポイントがリストの最上部に移動します。チェックポイント選択時にこのボタンを押した場合、チェックポイントが削除されます。
- **グループ折りたたみ** ボタン  は、リストをグループに折りたたみ、1つの状態にまとめ、それぞれの履歴を削除します。このボタンを押した後にグループ内の各変更を編集することはできません。

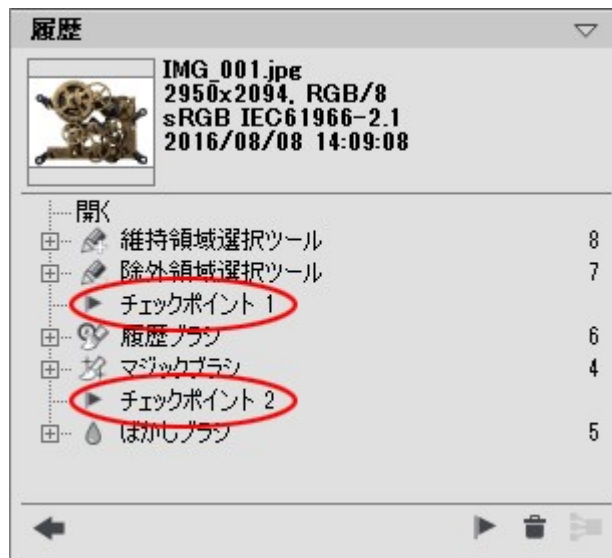
プロジェクトでの作業時の操作方法

AKVIS SmartMaskでは、作業中のプロジェクトを **.akvis** 拡張子のファイルに保存することができます。ファイルには、元のイメージ、保存時のイメージの状態、作業中に手動で追加(作成)したチェックポイントが含まれます。さらに、最後に使用したカラーセットとパラメーターも含まれます。

AKVIS SmartMaskでプログラムの作業を行う方法:

ステップ1: プログラムのツールを使い、定期的に作業中のプログラムを **チェックポイント** と共に保存するには、**履歴**パレットの **チェックポイント作成**  ボタンをクリックしてください。

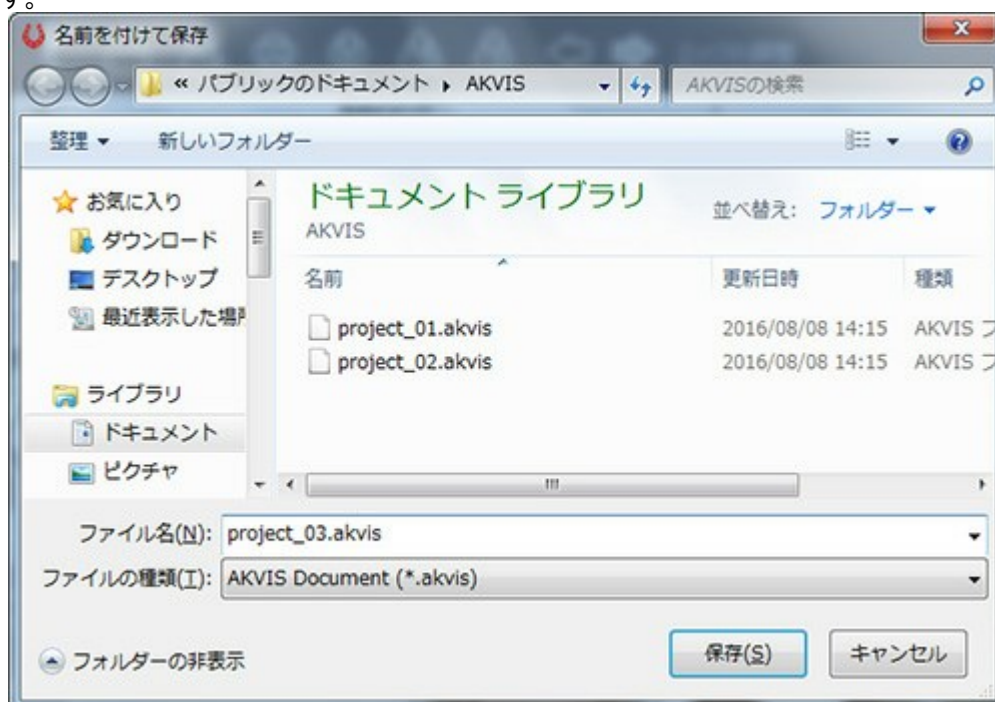
これらのコントロールポイントは、カラーストロークや選択範囲と共にイメージの現状を維持するのに役立ちます。



注意: **履歴** パネルは、**Home Deluxe** と **Business** 版ライセンスでのみ有効ですので、**Home Deluxe**と**Business** **ライセンス** のユーザーのみ、チェックポイントを作成できます。

Home ライセンスでもプロジェクトを **AKVIS** ファイルに保存できますが、保存時のイメージの状態、パラメーター、設置のみが保存され、チェックポイントは保存されません。

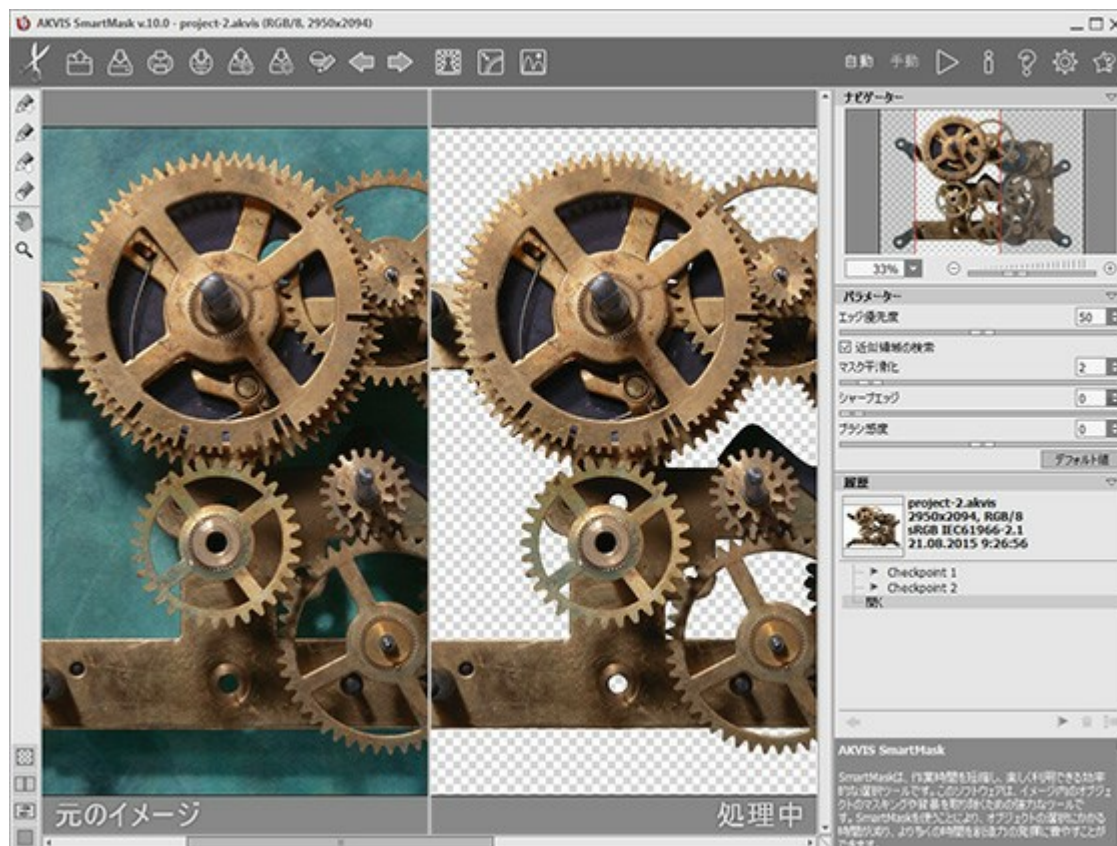
ステップ2: プロジェクトを **.akvis** 拡張子ファイルに保存します。保存するには、 をクリックし、ファイル名を選択(入力)して **【保存】**をクリックします。



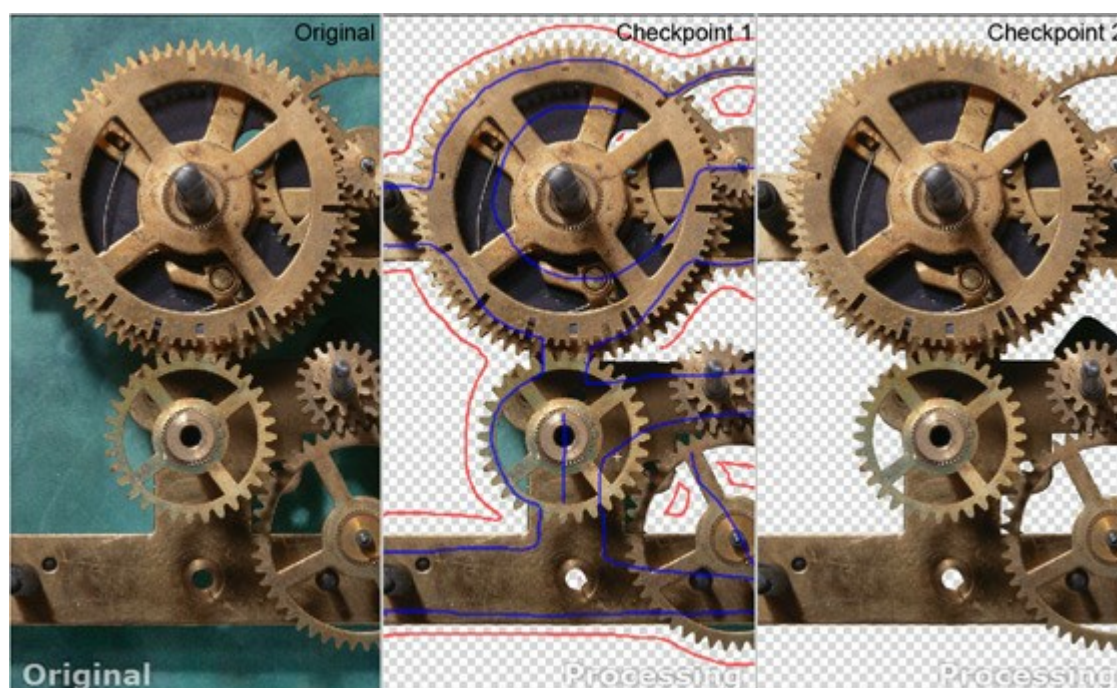
スタンドアロン版では、別の方法として、 をクリックして保存することもできます。**AKVIS** 形式を選択するだけです。

ステップ3: 保存プロジェクト (*.akvis) を開くには、 をクリックします。スタンドアロン版の場合、 をクリックして開くこともできます。

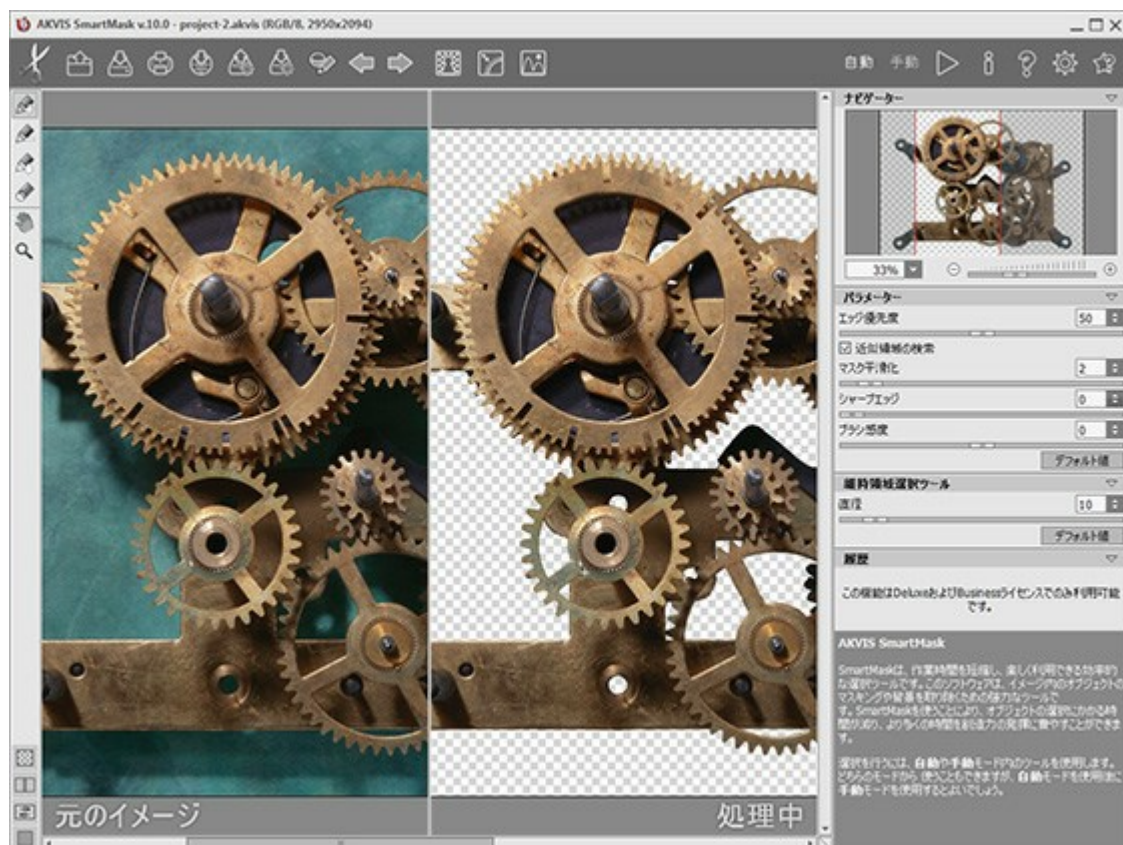
履歴 パレットには、保存されたチェックポイントと処理結果(内容)が表示されます。元のイメージが **【処理前】** タブに、最後に保存された状態が **【処理後】** タブに表示されます。



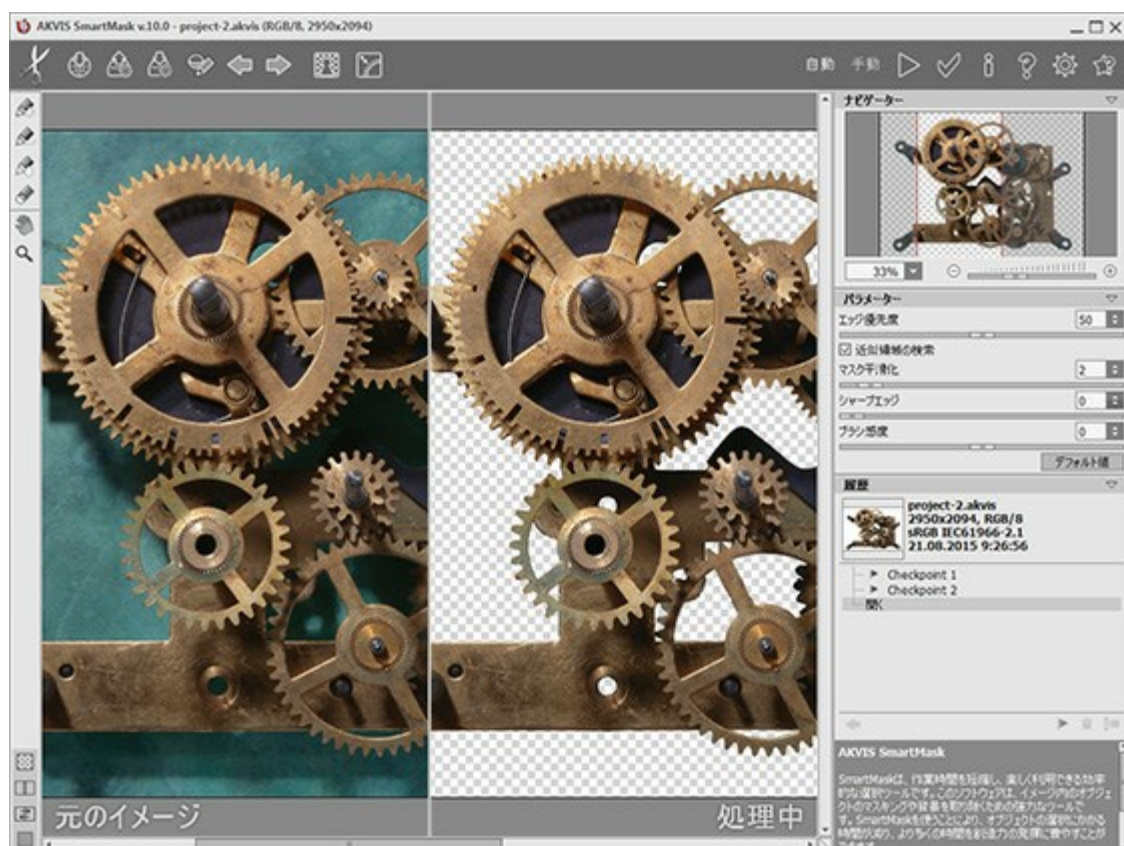
チェックポイント間の切り替えは、**履歴** パレット内のチェックポイントをクリックして行うことができます。該当するイメージが **【処理後】** タブに表示されます。



Home 版のユーザーは、元のイメージと処理後のイメージをそれぞれ **【処理前】** タブと **【処理後】** タブで確認できるのみです。



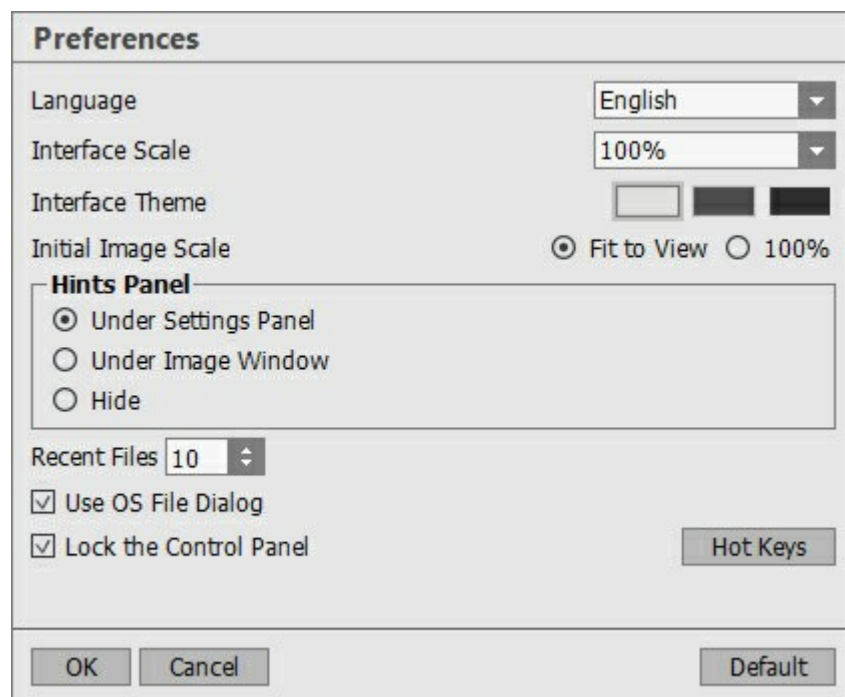
AKVIS SmartMask プラグイン版でプログラムの作業を行う場合も、スタンドアロン版と全く同じ方法になります。



プログラムの環境設定



【環境設定】ダイアログボックスを開きます。**【環境設定】**ダイアログボックスは次のように構成されています。



- **言語**: ドロップダウン メニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。 **自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。**明るい**, **グレー** または **暗い** の3種類のテーマがあります。
- **初期の比率**。このパラメータは、開いたイメージを**イメージウィンドウ**に拡大/縮小する方法を設定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
 - **【画面に合わせる】**: イメージウィンドウに全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
 - **【100%】**: イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部だけが見える状態で表示されます。
- **ヒント パネル**: カーソルをパラメータやボタンに合わせた場合、それらに関する簡単な**ヒント**が表示されます。ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
 - **イメージウィンドウの下**: メインウィンドウ内のイメージの下に表示します。このモードは、ウィンドウの高さが低く、設定パネルの下にヒントを表示するだけのスペースがない場合に便利です。
 - **設定パネルの下**: 右側の設定パネルの下にヒントが表示されます。
 - **隠す**: ヒントの表示する必要がない場合は、このオプションを選択します。
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧は、最も最近使ったファイルが一番上に来るよう順番に表示されます。この一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **OS指定のダイアログボックスを使用**チェックボックス: オンにすると、システム指定のダイアログボックス(開く/保存)を使用できます。デフォルトではAKVIS File Dialogに設定されています。
- **コントロールパネルを常に表示**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスをオンにすると、パネルは常に表示されます。
- **ホットキー**: ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示され、すべてのツールや操作に対して **キーボード ショートカット** を設定できます。

【環境設定】ウィンドウでの変更内容を保存するには、**【OK】**をクリックします。

既定値に戻す場合は**【既定値】**をクリックします。

ホットキー(キーボード ショートカット)

操作によっては、キーボードの「ホットキー」を使ったほうが簡単で早いという場合があります。

ツールを有効にする場合、該当するアイコンをクリックするか、キーボード上のキーの組み合わせを使うかのいずれかになります。後者の方法のほうが、格段に生産性は上がるでしょう。

AKVIS SmartMask では、利用可能なホットキーの一覧の表示に加え、編集することもできます。

ホットキーのカスタマイズ方法:

-  をクリックして **【環境設定】**ダイアログボックスを開きます。
- **【ホットキー】** ボタンをクリックします。



表示される **ホットキー** ダイアログボックスには、キーボード ショートカットの一覧が表示されます。

- 変更するコマンド/ツールのショートカットを選択します。セルをダブルクリックすると編集可能になります。
- 各コマンド/ツールには、最大4つのキー コンビネーションを使用することができます。

デフォルトのキーボード ショートカット一覧:

ホットキー					
コントロール パネル					
		1	2	3	4
	イメージを開く	Ctrl+O			
	名前を付けて保存	Ctrl+S			
	印刷	Ctrl+P			
	読み込む				
	保存				
	ストロークの表示				
	元に戻す	Ctrl+Z			
	やり直し	Ctrl+Y			
	バージョン情報				
	ヘルプ	F1			
	環境設定				

コマンド				
	1	2	3	4
拡大	+	Ctrl++	=	Ctrl+=
縮小	-	Ctrl+-	_	Ctrl+_
ブラシサイズを小さくする	[			
ブラシサイズを大きくする	]			
選択領域を削除	Del			
未選択領域を削除	Ctrl+Del			
選択解除	Ctrl+D			
すべて選択	Ctrl+A			
選択の反転	Ctrl+I			

自動モード				
	1	2	3	4
▶ 実行	Ctrl+R			
維持領域選択ツール	I			
除外領域選択ツール	O			
遷移領域選択ツール	P			
ストローク消去	E			
次へ	B			

手動モード				
	1	2	3	4
クイック選択ツール	Q			
標準選択ツール	V			
マジックブラシ	W			
履歴ブラシ	R			
消しゴム	E			
ほかしブラシ	B			
維持色選択スポイトツール	K			
削除色選択スポイトツール	D			
スポイトツールの切り替え	I			

他のツール				
	1	2	3	4
手のひらツール	H			
ズームツール	Z			

変更するコマンド/ツールのショートカットを選択します。セルをダブルクリックすると編集可能になります。
各コマンド/ツールには、最大4つのコンビネーションを使用することができます。

OK キャンセル デフォルト値

変更を保存するには、**[OK]**をクリックします。

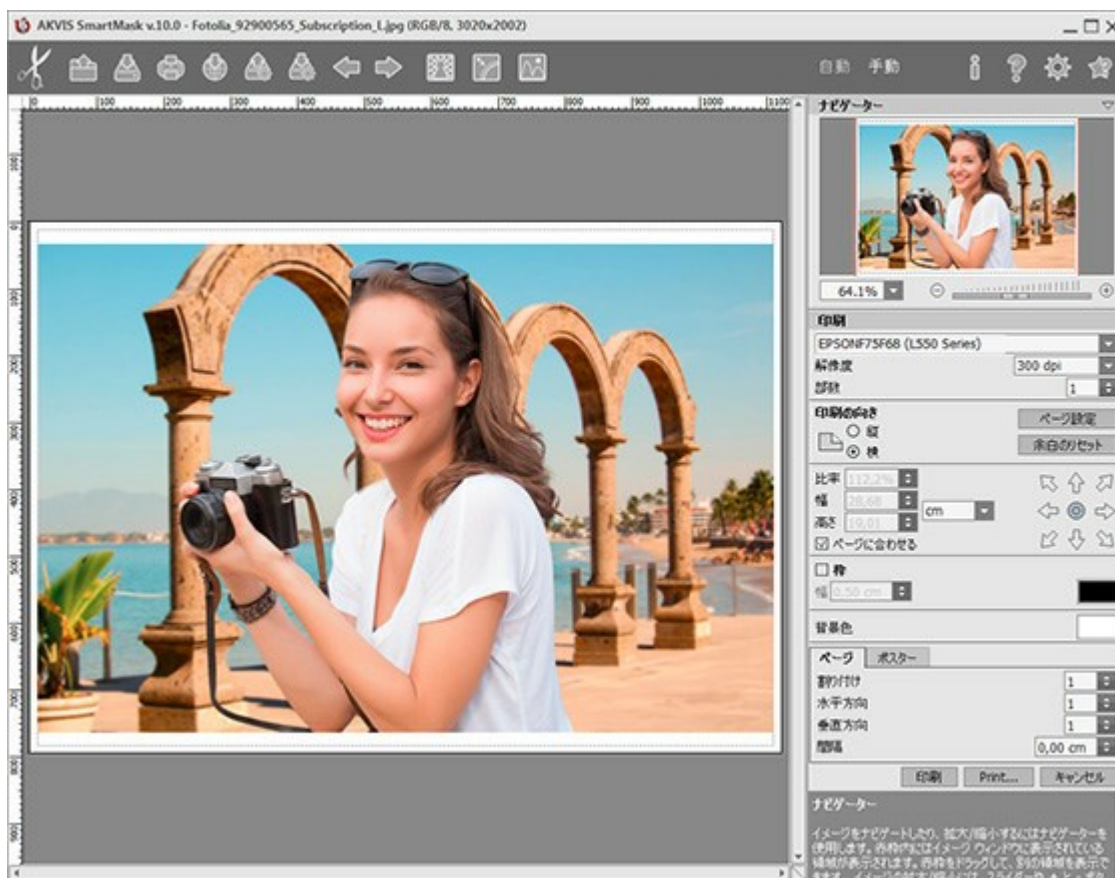
デフォルトのショートカットをリストアするには、**[デフォルト]**をクリックします。

印刷

AKVIS SmartMask のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。



を押すと **[印刷]** オプションが表示されます。



AKVIS

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択肢、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。縦 または横 から選択します。

[ページ設定] をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット] をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**[比率]**、**[幅]**、**[高さ]**、**[ページに合わせる]**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、**[比率]**に値を直接入力するか、**[幅]**と**[高さ]**に値を入力します。

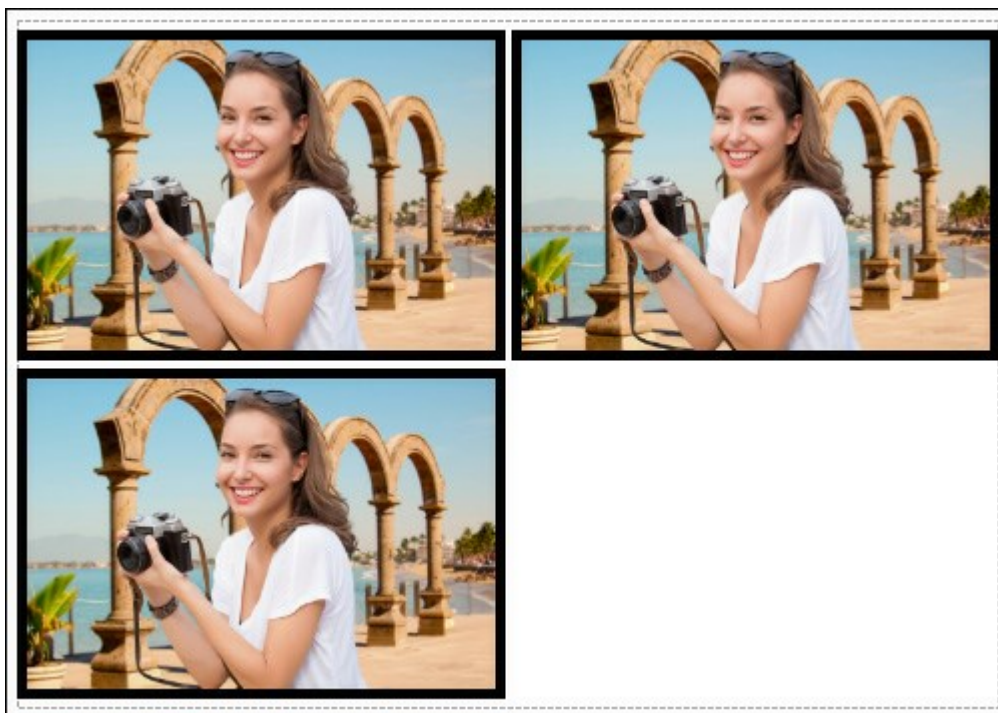
イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**[ページに合わせる]**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠] を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、**[背景色]** を変更できます。

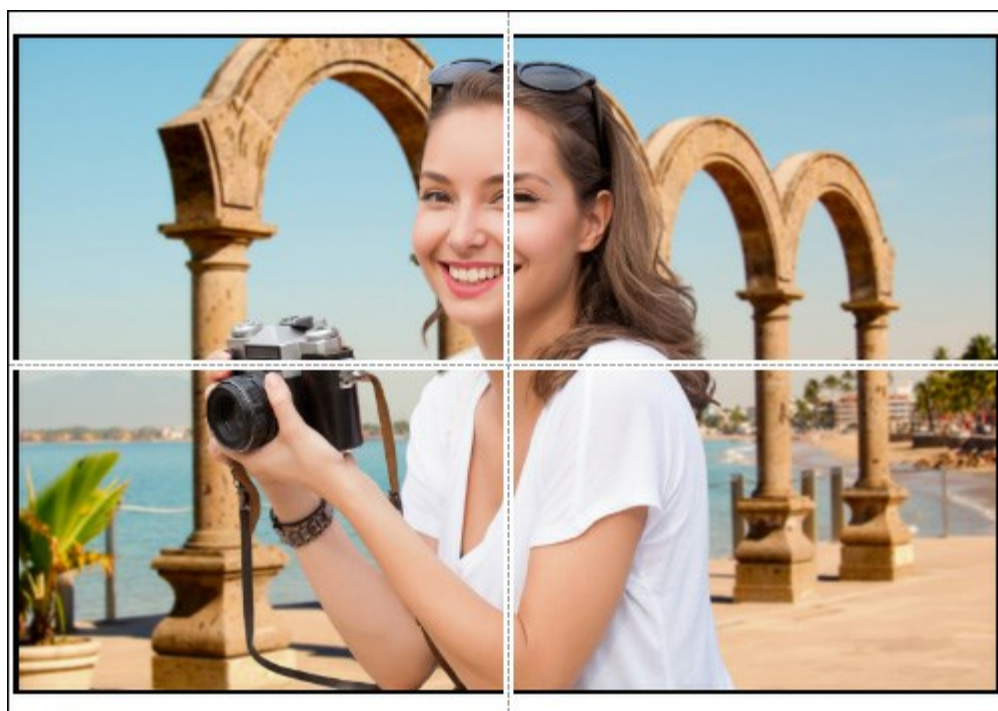
[ページ] タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



ページの印刷

- **【割り付け】**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **【水平方向】**と**【垂直方向】**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **【間隔】**: イメージ同士の間隔を指定します。

【ポスター】 タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **【ページ】**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **【のりしろ】**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **【切り取り線】**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **【ページ番号の表示】**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**【印刷】**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

自動選択ツール

自動 モードは、コントラスト レベルが良く、エッジが鮮明なイメージにぴったりのモードです。複雑なオブジェクトの処理を行う際の最初の段階で使用することもできます。選択を自動的に行うためのツールが含まれているモードです。



元のイメージ

ステップ1: 次のツールを使用して、削除する領域と維持する領域を決定します。

維持領域鉛筆 : 青色鉛筆を使用して、維持する領域のアウトラインを描きます。

削除領域鉛筆 : 赤色鉛筆を使用して、削除する領域のアウトラインを描きます。

消しゴム : このツールを使用し、描画したストロークを削除します。

The **Eraser** tool works in 4 modes: **all lines**, **only red lines**, **only green lines**, **only blue lines**. Depending on the selected option, the tool erases only lines of the specified color.



赤と青のストローク

ステップ2:  をクリックしてイメージ処理を開始します。イメージ処理は既定の設定で実行されます。



透明な背景での結果

ステップ3: 遷移領域選択ツール  を使って、複雑な部分の指定を行います。このツールは、髪、綿、動物の毛(ファー)、木の枝を選択する際に便利です。

この鉛筆を使って、維持する領域と削除する背景部分の両方を含む「遷移領域」を定義します。この領域のポイントの不透明度はさまざまです(0から100%の間)。



緑のストローク

ツールの **サイズ** は、**設定パネル**、またはイメージ ウィンドウを右クリックして表示されるポップアップボックスで調整します。

ステップ4: 満足の行く結果が得られなかった場合は、ストロークを描きなおすことができます。



ストロークの描きなおし

さらに、選択したツールのパラメーターを **設定パネル**で調整します。

エッジ優先度: このパラメーターは、赤と青のアウトライン間のポイントの処理方法を定義して、切り取ったオブジェクトのエッジを特定します。パラメーターの値を上げると、切り取りオブジェクトのエッジ部は、別々の色でマークされたオブジェクトとの境界として定義されます。値を下げると、プログラムは、未定義領域の色範囲に優先度を与えます。既定値は50に設定されていて、プログラムは両方の原則を考慮します。

近似領域の検索: 既定ではこのチェックボックスはオフに設定されています。この場合、イメージのポイントは近くの領域に描かれたストロークに従って色付けされます。チェックボックスをオンにすると、プログラムは(イメージ全体の)赤ゾーンと青ゾーンのポイントの色範囲と未定義ポイントの色を比較し、それらに従ってマークします。これは、文字や格子模様を切り取る時に役立ちます。

マスクスムージング: このパラメーターは、切り取りオブジェクトのエッジを滑らかにします。値が高いほど、輪郭は太く、くっきりしたものになります。

エッジの鮮明度: このパラメーターは、切り取りイメージのエッジを鮮明にします。パラメーターの値が大きいほど、オブジェクトのエッジはより鮮明になります。

感度: このパラメーターは、さまざまな領域で示されるディテールの量に作用します。値を大きくすると、より多くの半透明なディテールが可視状態になります。

ステップ5:  をクリックして、新しい設定をイメージ全体に適用します。



色の背景での結果

手動モードでマスクを編集することもできます。

注意: どのツールであれ、両方のモードで作業を行う場合は、**自動**モードを使用してから **手動**モードを使用するという順番を必ず守ってください。[自動]モードの状態ですでに処理を実行した場合、手動で使ったツール(スマートブラシ)の編集は失われます。

手動選択ツール

手動 モードには、選択するための便利なツールが幾つかと処理結果を編集するための後処理ツールが含まれています。

選択ツール:

クイック選択ツール  は、近接するピクセルの色を分析して行います。このツールで描画した部分の選択は、自動的にエッジや塗りつぶし領域を探して広がります。 [詳細はこちら](#)。



標準選択ツール 、、、 は、幾何学図形やフリーハンドの図形を使用した選択ができます。 [詳細はこちら](#)。



マジックブラシ ツール  は、複雑なオブジェクトの選択や自動選択ツールでの選択の修正に便利といえます。このツールは、色セットをもとに作業し、ある色は維持し、ある色は削除します。 [詳細はこちら](#)。



後処理用ツール:

さらに使用可能な [後処理ツール](#): [ぼかしブラシ](#) , [消しゴム\(背景\)](#) , [非彩色化ブラシ](#) , [履歴ブラシ](#) .

クイック選択ツール

クイック選択 ツール  は、近接するピクセルの色を分析して行います。オブジェクトの選択を行います。このツールで描画した部分の選択は、自動的にエッジや塗りつぶし領域を探して広がります。



元のイメージ

ステップ1: 選択範囲の作成モードを **新規**、**追加**、**削除**の中から選択します。

新規 : このモードでは、新しい選択領域が作成されます。既に選択領域がイメージ内にある場合は、その選択を解除します。描画を始めると、自動的に **[追加]**に切り替わります。

追加 : 既存の選択範囲に新たに付け加えられます。

削除 : このモードを有効にすると、不要な選択領域を取り除きます。

ステップ2: ツールのパラメーターを調整します。

サイズ: ブラシの太さ(直径)を指定します。

色の選択は、オブジェクトのエッジ部分や **【トレランス】**パラメーターの値を考慮して、近似色がすべて選択されます。

トレランス: 値が高いほど、選択範囲に多くの色が含まれることになります。0に設定されている場合、選択ツールで描いた部分のみに処理が適用されます。



トレランス = 5



トレランス = 50

ステップ3: ブラシで描画することで、新しい選択範囲を指定します。

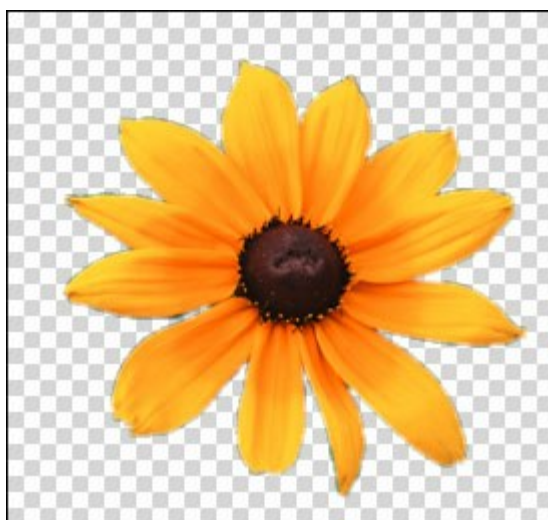


ステップ4:  をクリックして、選択領域をどうするかに応じて、

[選択領域の削除]、**[非選択領域の削除]**、**[選択領域の反転]**、**[選択解除]**のいずれかを選択します。

選択領域を削除	Del
未選択領域を削除	Ctrl+Del
選択の反転	Ctrl+I
選択解除	Ctrl+D

例えば、背景を取り除きたい場合は、2つ目のコマンドを使用します。



結果

マジックブラシ や **その他のツール** を使って選択エリアを編集することもできます。

標準選択ツール

SmartMask の標準選択ツールは、幾何学図形やフリーハンドの図形を使用した選択ができます。選択領域は、点線で示されます。選択領域をイメージ内で移動させるには、カーソル  が選択領域内にある状態でドラッグします。



選択ツール

選択ツール:

長方形選択ツール  は、長方形や四角形の領域を選択する際に使用します。マウスの左ボタンを押しながら、ドラッグして選択を行います。

楕円形選択ツール  は、楕円形や円形の領域を選択する際に使用します。

投げなわツール  は、フリーハンドで領域を選択できます。選択するオブジェクトの周りにラインを描画(ドラッグ)します。マウスから指を離すと輪郭が閉じ、最終地点が開始地点とつながります。

多角形選択ツール  は、フリーハンドで領域を選択することはできますが、輪郭は直線で構成されます。各頂点でクリックすると、プログラムが自動的に2つの頂点を結んで直線を描画してくれます。輪郭を閉じるには、開始点で再度クリックするか、最終点でダブルクリックします。

Shift キーを押すと、四角や円、また垂直/水平な線を描画することができます。

ツールのオプションは、設定パネルとイメージ上を右クリックして表示されるボックスに表示されます。

選択モード により、選択した範囲をどうするか(結果)が異なります。

新規  : 新しい選択範囲を生成すると、既存の選択範囲は削除されます。

追加  : 既存の選択範囲に新たに付け加えられます。

削除  : 指定範囲を既存の選択範囲から取り除きます。

共有部分  : 指定した範囲と既存の選択範囲が重なる部分のみが選択範囲として適用されます。



追加

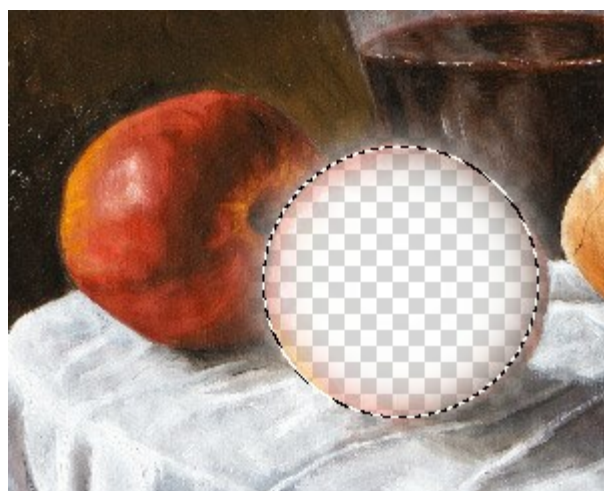


削除

境界をぼかす (設定可能値が 0から100): 選択範囲の境界部分をぼかします。



境界をぼかす = 0



境界をぼかす = 10

アンチエイリアス: チェックボックスを有効にすると、選択枠のエッジ部分のギザギザを滑らかにします。選択領域を 作成する前に このオプションを有効にしてください。



アンチエイリアスが無効



アンチエイリアスが有効

[中央から] チェックボックス: カーソルのある位置が中央になるように選択領域を作成できます。オプションが無効の場合、カーソルのある位置が角になるよう選択領域を作成します。

技法: 選択領域のサイズの設定を行えます。

標準: カーソルのドラッグによって選択領域を指定します。

固定サイズ: ピクセルで高さと幅を指定し、指定された大きさの選択領域が作成されます。

固定比率: 選択領域の高さと幅の比率が 固定されます。



をクリックして、選択領域をどうするかに応じて、

[選択領域の削除]、**[非選択領域の削除]**、**[選択領域の反転]**、**[選択解除]**のいずれかを選択します。

[マジックブラシ](#) や [その他のツール](#) を使って選択エリアを編集することもできます。

マジックブラシ

マジックブラシツール  は、複雑なオブジェクトの選択や自動選択ツールでの選択の修正に便利といえます。このツールは、色セットをもとに作業し、ある色は維持し、ある色は削除します。

マジックブラシは、**維持色**フィールドに含まれる色のポイントを維持し、**削除色**フィールドに含まれる色のポイントを削除します。その他の色は、近い色または近い色セットに基づいて維持、または削除されます。



元のイメージ

ステップ 1: 色の選択: **維持色**と**削除色**を、**設定パネル**内にあるそれぞれのスポイトツール  を使って選択します。それぞれのリストに最大5色まで選択できます。



スポイト アイコンをクリックすると**維持色**選択スポイトツールまたは**削除色**選択スポイトツールが有効になりますので、画像内の色をクリックして選択します。

スポイト ツールを有効にしてイメージ内をクリックすると、その部分の色に関する情報を 5つに分割された **色リング**が表示されます。



1. 中心が選択した部分の色を示すグラデーションは、左側が 30% 黒を加えた色、右側が 30% 白を加えた色です。

2. 今現在選択している色を示しています。
3. カーソルがある地点の色のピクセルを示しています。
4. 周囲のピクセルの色を示しています。
5. 選択地点の周囲を平均した色（時計回りに3x3、5x5、11x11、31x31、51x51、101x101ピクセル四方）を示しています。

このツールにより、より厳密に色を選択できるようになります。希望の色が見つからない場合、**色リング**内にある隣接する色を **Ctrl** キーを使用します。

維持/削除リスト内のチェックマークのついた色は、結果を割り出す際に考慮される色を指します。色を除外するには、チェックをはずす必要があります。

【色を維持】 フィールドでは、それぞれの色に対して以下の設定を行うことができます。

遷移（設定可能範囲は 10-100）：指定した色と、取り除く背景の間の境界部分の遷移の滑らかさを指定します。パラメータの値が低いほど、遷移の滑らかさは失われます。

優先度（設定可能範囲は 10-100）：優先度の高い色は、ブラシを使って画像を処理した後も残ります。優先度が低いほど、色が削除されてしまう可能性が高くなります。

【優先度を有効にする】 チェックボックスをオンにすると、**【遷移】** で指定した値や**【優先度】**パラメーターが処理に適用されます。



チェックボックスがオフ

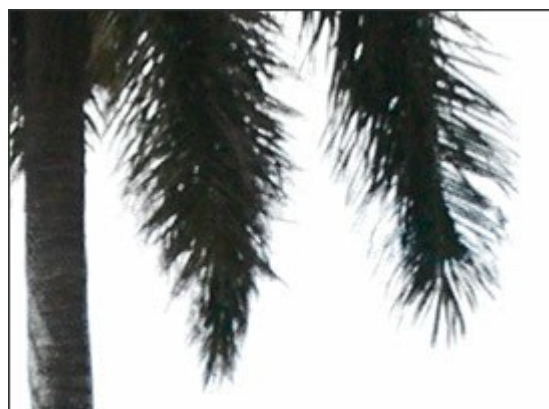


チェックボックスがオン

【Lab カラー】 チェックボックス：チェックボックスをオンにすると、Lab カラー空間を使用するので、処理結果の制度を改善できます。チェックボックスがオフの場合は、RGB カラー空間が使用されます。



チェックボックスがオフ



チェックボックスがオン

一覧から色を削除するには、目的の色を左クリックで選択して  を押します。一度に複数の色を選択するには、**Ctrl** キーを使用します。リストを右クリックして表示されるリストのオプションから、一覧のクリアを行うことができます。

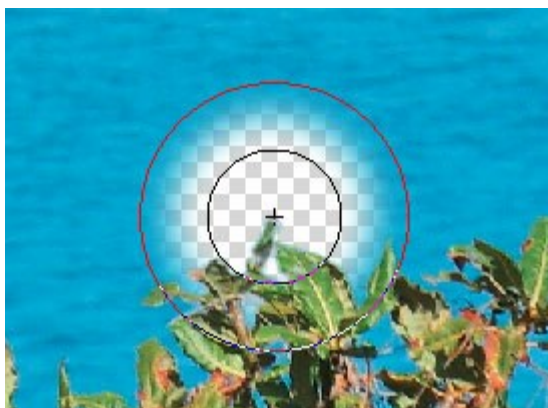


色のリストの保存は  をクリック、読み込みは  をクリックします。

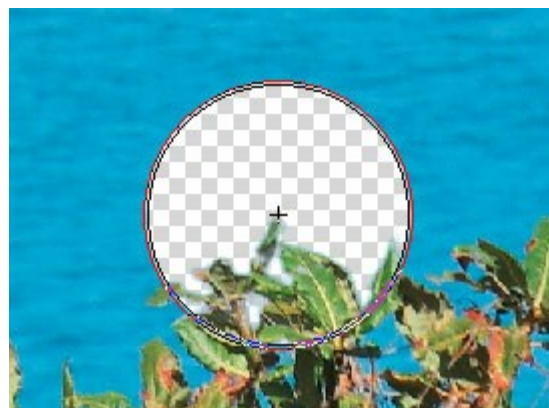
ステップ 2: ブラシの直径 (サイズ) と硬さを指定します。

サイズは、ツールの直径をピクセルで指定します。

硬さ は、ツールのエッジ部分のぼかし具合を指定します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしがかかったものになります。



硬さ = 50



硬さ = 100

ステップ 3: ツールの操作モードを指定します。

削除  : このモードのマジックブラシは、**削除色**フィールドに含まれる色と同じ色のポイントのみを削除します。

維持  : このモードのマジックブラシは、**維持色**フィールドに含まれる色と同じ色のポイントのみを削除します。

維持&削除  : このチェックボックスをオンにすると、マジックブラシは、**削除色**フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを削除し、**維持色**フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを復元します。



ツール適用前



削除モード使用



維持モード使用



維持&削除モード使用

ステップ 4: ブラシ感度 グループに含まれている以下のパラメーターを調整することもできます。

色を維持: パラメーターの値が大きいくほど、イメージ上で **維持** される色の範囲がより広くなります。

色を除外: パラメーターの値が大きいくほど、**削除** される色の範囲がより広くなります。

ブラシ感度全般: このパラメーターの値は、さまざまな領域で復元されるディテールの量に影響します。パラメーターの値が大きいくほど、ディテール（細部）までがより半透明に表示されます。

注意: **[優先度を有効にする]** チェックボックスがオンの場合、**[色を削除]** パラメーターの値は無視されます。

[遷移] パラメーターの値が、**[色を維持]** パラメーターの値 + 10 よりも小さい場合、**[遷移]** パラメーターの値が無視され、**[色を維持]** パラメーターの値 + 10 が使用されます。

ステップ 5: オブジェクトの色合いを変更する必要がある場合は、**[前景リカバリー]** チェックボックスを有効にします。

大抵の場合、オブジェクトには均等に光が当たっているわけではないので、切り取りオブジェクトには隣接するオブジェクトの反射による影や色が生じます。例えば、空の青みや木々の緑が髪の部分に残っていたり、他のオブジェクトの影が衣類に残るような色合いは、非常に不自然に映るでしょう。

[前景リカバリー] チェックボックスをオンにすることで **不要な色合いを取り除く**ことができます。カラーパレットをクリックして色を選択します。クリックすると、スポイトツールがアクティブになり、画像内から色を選択できるようになります。ダブルクリックすると、**[色の選択]** ダイアログが表示されます。パレットを右クリックして **透過度** を設定すると、**維持色** リスト内の色が使用されます。

[強度] パラメーターは、適用する色の影響を定義します。パラメーターの値が大きいくほど、より多くの色が変更されます。

マジックブラシを修正したい部分の処理に使用すると、指定した色合いに変更されます。



[前景リカバリー]無効時

[前景リカバリー]有効時
緑を指定

ステップ 6: マジックブラシ ツールを使って、必要なフラグメントの処理を行います。



マジックブラシの使用

色セットやパラメーターをすべて調整したら、処理を実行したい部分すべてをブラシで描画します。



白い背景での結果

結果の処理には、[後処理ツール](#)を使用することもできます。

クロマキー

クロマキーは、映画やテレビ番組の撮影/製作時に使用される技術で、幾つかの画像やフレームを1つに合成するときに使用されます。撮影時は、前面に表示されるオブジェクトを、単色（緑か青）の背景幕の前で撮影します。その後の処理で、背景の色が取り除かれ、別の映像等に置き換えられます。

AKVIS SmartMask のクロマキーモード  では、単色の背景を簡単かつ正確に削除できます。

注意: この機能は [Home Deluxe](#) および [Business](#) ライセンスでのみ利用可能です。



背景の除去

注意: クロマキーは、元の画像に適用する必要があるので、このモードは、最初の処理段階で使用します。使用するタイミングを間違えると、変更がすべて失われます。

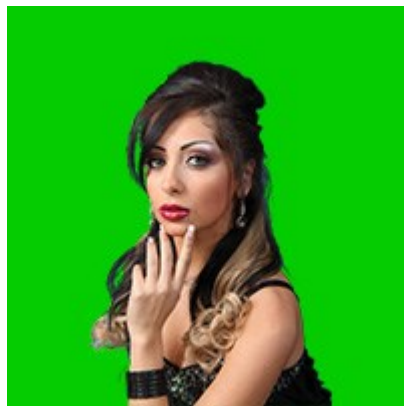
画像の背景を削除する場合は、以下のパラメーターを調整します。

色: 3つのカラーパレットを使用して、削除する色を設定します。パレットをクリックすると、スポイトツールがアクティブになるので、画像内から色を抽出します。パレットをダブルクリックすると、色選択ダイアログが表示されます。パレットを右クリックすると色が削除されます。
背景画像の背景の種類を選択します。選択したオプションに応じ、異なるピクセル除去メソッドが使用されます。選択できるオプションは次の3つです。

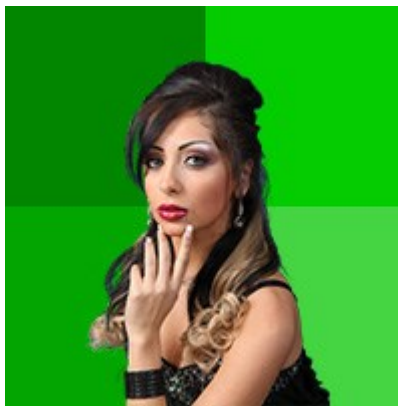
均一: 背景ピクセルは、色レベルと輝度レベルの差異を元に除去されます。このオプションは、青または緑のスクリーン等単色の背景を取り除く際に使用するとよいでしょう。このメソッドは、他のメソッドより多くのディテールを維持することができます。

不均一: 背景ピクセルは、色レベルの差異だけを元に除去されます。このオプションは、様々な色を含む背景の場合に使用するとよいでしょう。

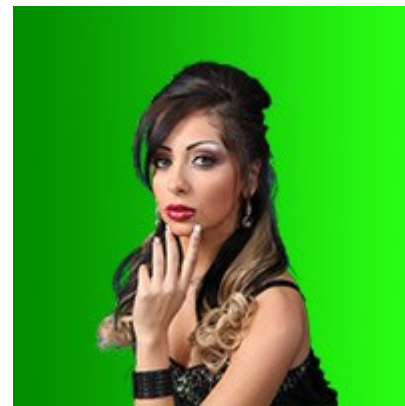
グラデーション: グラデーションの背景を削除する際に使用します。



均一な背景



不均一な背景



グラデーションの背景

色を削除/色を維持 (設定可能範囲は 0-100): 削除する色の範囲を指定します。

[色を削除]の値が高いほど、指定した色が画像内からより多く取り除かれます。[色を維持]の値が高いほど、指定した色が画像内により多く残ります。色範囲内のピクセルを持つ色は半透明になります。

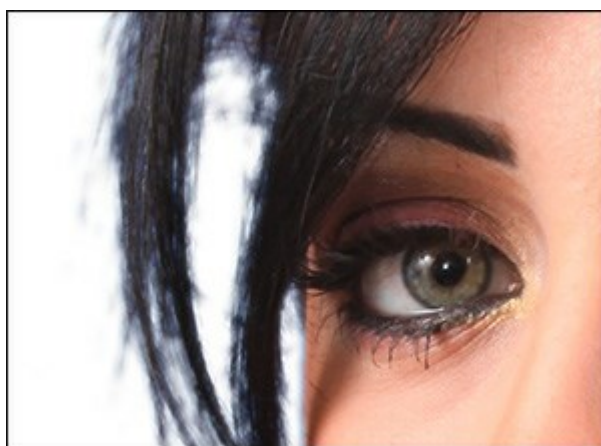


除去する色 = 5、維持する色 = 20

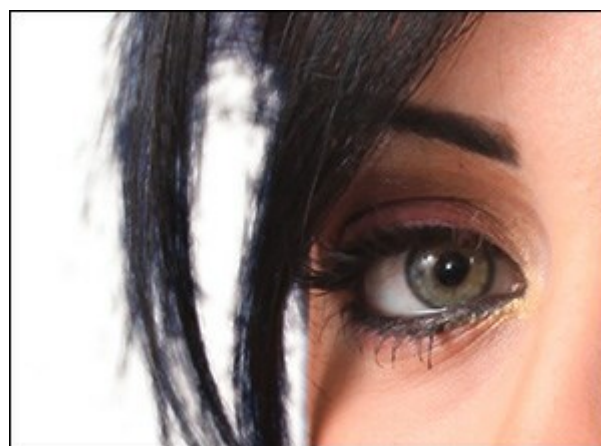


除去する色 = 25、維持する色 = 50

エッジのリカバリー (設定可能範囲は 0-100): フラグメントのエッジ部分に含まれる半透明ピクセルの色を、隣り合う不透明なピクセルを置き換えます。



エッジのリカバリー = 10



エッジのリカバリー = 100

非彩色化 (設定可能範囲は 0-100): 抽出したオブジェクトのエッジに含まれる半透明ピクセルの色の彩度を下げます。

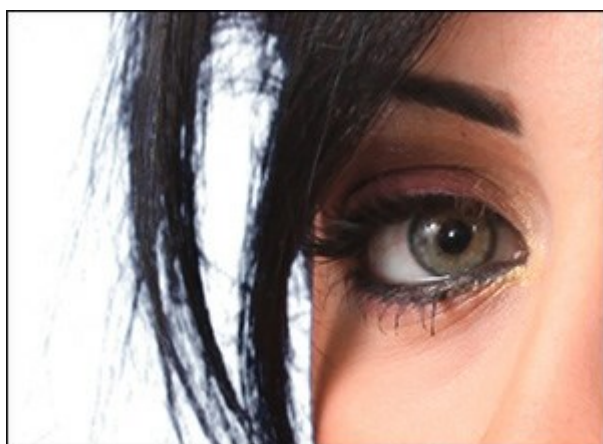


非彩色化 = 0

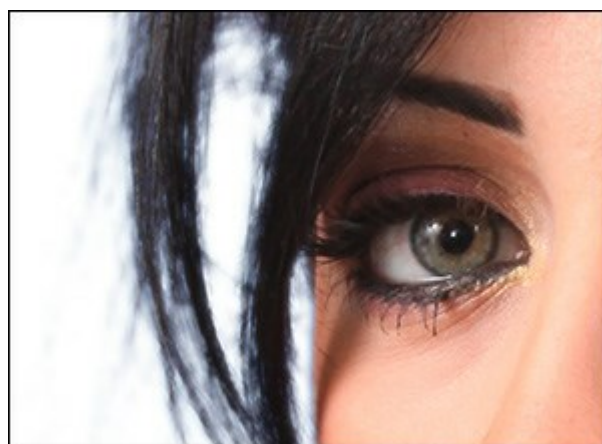


非彩色化 = 100

ぼかし (設定可能範囲は 0-100): フラグメントのエッジ (境界) 部分をどの程度ぼかすかを指定します。



ぼかし = 1



ぼかし = 5

【表示モード】ドロップダウン メニューでは、切り取りオブジェクトをイメージ ウィンドウで表示する際のオプションを選択できます。

変更を適用する場合は、**【OK】** ボタンをクリックします。変更を保存せずに終了する場合は、**【キャンセル】** ボタンをクリックします。デフォルトの設定をリストアするには、**【デフォルト】** をクリックします。

処理結果のエッジを修正 (編集) するには、**エッジの微調整** モードを使用します。

背景を変更するには、**スタム背景** モードを使用します。

エッジの微調整

エッジの微調整 機能  は *Deluxe* 版と *Business* 版でのみ利用可能ですが、選択範囲のエッジや切り取りオブジェクトを簡単に編集するのに便利です。



エッジの微調整

設定パネルにあるツールやパラメーターを使用して、選択領域のエッジ部分を調整します。

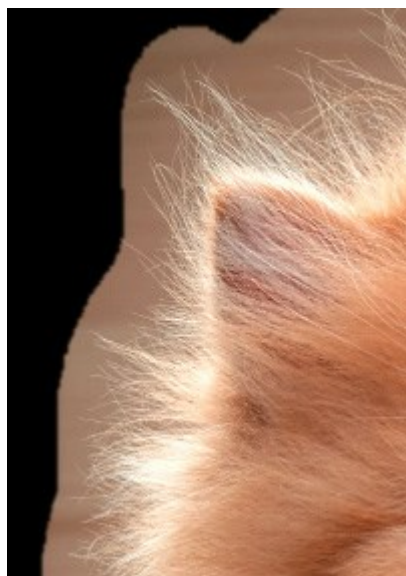
変更を加える領域の種類を指定します。**選択範囲**で選択範囲の枠を変更するか、**【切り取り】** を選択して、抽出したオブジェクトのエッジを調整します。

プレビュー ポップアップ メニューでは、編集の際、選択範囲や切り取りオブジェクトがどのようにイメージ ウィンドウに表示されるかを指定します。

サイズの微調整ツール  を使うと、適用領域をより正確に指定し、境界部分の様々な部分のサイズをそれぞれ変更することができます。選択範囲の編集は、**消しゴムツール**  を使用します。

サイズ (設定可能範囲は1-1000): ブラシで引くラインの幅をピクセルで指定します。

[選択範囲の表示]チェックボックス: つまり、このチェックボックスがオンの場合、選択範囲は常に表示されます。チェックボックスがオフの場合、編集の時にのみ表示され、それ以外は非表示になります。



切り取りオブジェクト



処理中



結果

以下のパラメーターを使用して、エッジの調整を行います。

半径 (設定可能範囲は 0-250): 選択範囲や切り取り部分の周囲の幅を指定します (エッジの微調整が適用される部分)。



直径 = 50



直径 = 200

しきい値 (設定可能範囲は -10 から 80): パラメーターの値を上げることで、削除するピクセルの色範囲や明るさを指定します。



しきい値 = 0



しきい値 = 50

遷移 (設定可能範囲は 10-100): 指定した領域内の遷移をより滑らかにします。



遷移 = 20



遷移 = 90

注意: **【しきい値】** / **【遷移】**パラメーターがイメージに適用されるのは、**【半径】**パラメーターの値が0ではない場合、または**【サイズの微調整】**ツール画使用された場合だけです。

【半径】パラメーターと**【サイズの微調整】**ツールは似ていますが、最大の違いは、パラメーターの場合、エッジ全体で同じ幅に設定するのに対し、ツールでは、エッジの異なる部分で異なるサイズを設定できるという点です。

羽根 (設定可能値が 0-100): 選択範囲/オブジェクトと背景の遷移をぼかし、半透明の領域を作り出します。



羽根 = 2



羽根 = 20

コントラスト (設定可能値が 0-100): このパラメーターは、選択範囲のエッジや切り取りイメージのエッジをシャープにします。



コントラスト = 5



コントラスト = 50

シフト (設定可能値が -100 から 100): 半透明ピクセルの透過度を変えることにより、トランジション領域の選択範囲やオブジェクトを拡大または縮小します。



シフト = -50



シフト = 50

非彩色化 (設定可能値は 0-100): **切り取り**を選択した場合にのみ有効です。抽出オブジェクトの エッジ部分にある半透明ピクセルの色の彩度を下げるパラメーターです。



非彩色化 = 0



非彩色化 = 50

パラメーターを設定後の結果:



結果

変更を適用するには**[OK]**をクリックし、オプションを閉じて終了するには**[キャンセル]**をクリックします。

[リセット]ボタンをクリックすると、このモードで行ったすべての変更が破棄され、パラメーターがデフォルトの設定にリセットされます。

後処理用ツール

処理結果の微調整を行い、最後の仕上げを行うためのツールは以下の通りです。ぼかしブラシ 、消しゴム(背景) 、非彩色化ブラシ 、履歴ブラシ 。

これらのツールは、手動モード有効時にツールバーに表示されます。

ぼかしブラシ : このツールは、隣接するピクセル間のカラーコントラストを下げることで、ぼかし効果を作成します。

ブラシは、**【強度】**パラメーターを使って調整できます。パラメーターの値が大きいほど、効果は強くなります。



ぼかしツール使用前



ぼかしツール使用后

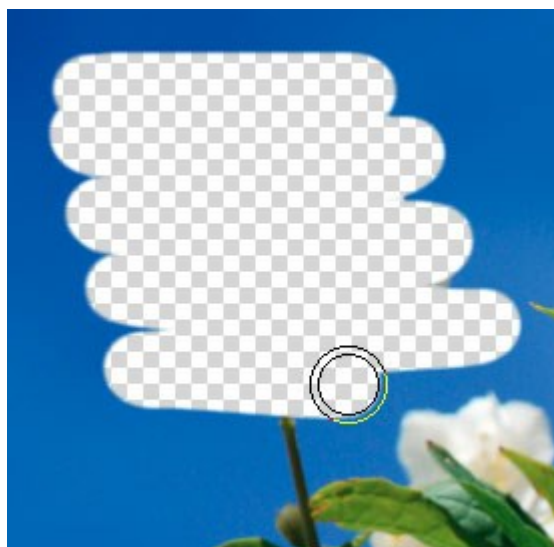
消しゴム(背景) : このツールは適用した領域を消去します。

強度 (設定可能値が 1-100): ツールを適用する強度を指定します。値が高いほど、消しゴムツールの影響が大きくなり、背景が見えにくくなります。

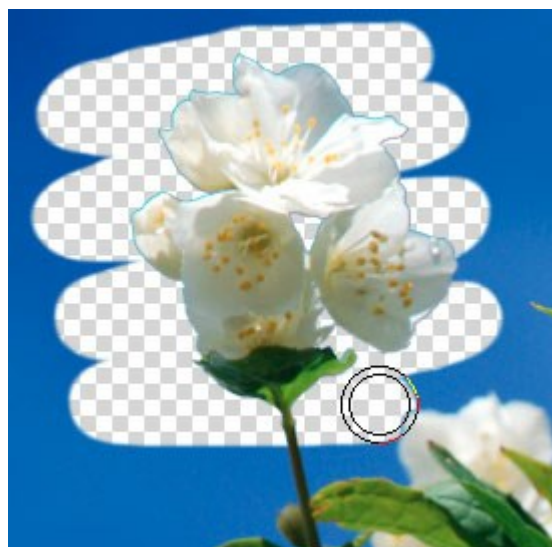
【トランス】 チェックボックスは、取り除く色の範囲をコントロールします。デフォルトの設定では無効となっていますので、ツールはすべての色を取り除きます。

有効になっている場合、クリック時、ブラシの中央の色がサンプルとして採取します。このツールを使って画像上を描画すると、指定した色は取り除かれます。

【トランス】 パラメーターの値が低いほど、取り除く色は少なくなります。値が高いと、より多くの色が取り除かれます。



背景消しゴム使用 トランス機能オフ



背景消しゴム使用 トランス機能オン

非彩色化ブラシ  : 処理を行う画像領域の彩度を下げるためのツールです。

強度 (設定可能範囲は 1-100): 非彩色化ツールの強度を指定します。値が高いほどピクセルの彩度が弱くなります。



非彩色化ブラシ使用前



非彩色化ブラシ使用后

履歴ブラシ  : このツールは領域を元の状態に戻します。

強度 (設定可能値が 1-100): オリジナルの状態へのレストアの度合いを指定します。低い値の場合は適用した効果とのブレンドが残りますが、100%に近い値の場合はオリジナルの状態に完全にレストアされます。



履歴ブラシ使用前



履歴ブラシ使用后

このツールに関して以下のパラメーターを設定できます。

サイズ: ブラシ幅の直径をピクセルで指定します。

硬さ: ブラシのエッジ(境界部分)によるぼかしの程度を指定します。値が高いほどブラシのエッジが硬くなり、ぼかしも弱くなります。低い値では、境界部分の遷移がよりスムーズに、つまりやわらかい、ぼかしがかかります。

その他のツール

その他のツールを使用することで、より一層作業がシンプルになります。

これらのツールは、**自動**、**手動**の両モードで利用できます。

手のひら ツール  は、画像を拡大して作業している場合にその表示領域をスクロールする際に使います。表示領域をスクロールするには、このボタンをクリック後に、画像上をマウスでクリックしたまま移動します。

イメージウィンドウ で画像をスクロールするには、キーボードのスペースバーを押しながら画像をドラッグすることもできます。

ツールバー 上にあるツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージは、**イメージウィンドウ**に合わせたサイズで表示されます。



ズームツール  は、イメージの表示サイズを変更するために準備されています。

クリックすると、ズームイン(拡大)します。クリックしながら **Alt** キーも押すと、ズームアウトします。画像の拡大/縮小は、**ホットキー**を使っても行えます。

特定の領域を拡大することもできます。その場合、 ボタンをクリックして、画像上の拡大する領域を長方形で指定します。対象の領域を指定したら、その領域がウィンドウ全体に収まるように拡大されます。

ツールバー 上にあるツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが100%の倍率(実際の大きさ)で表示されます。



ズームツールを使って、選択範囲の拡大

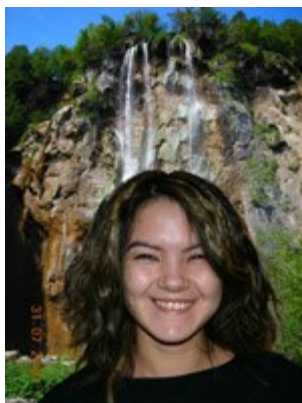
写真から人物を切り取る

AKVIS SmartMask を使って、画像内のオブジェクトを選択し、背景を削除することができます。

この操作例では、プログラムになれるため、両方のモードとより多くのツールを使用できるよう工夫されています。
すべての作業は、約10分で完了しました。



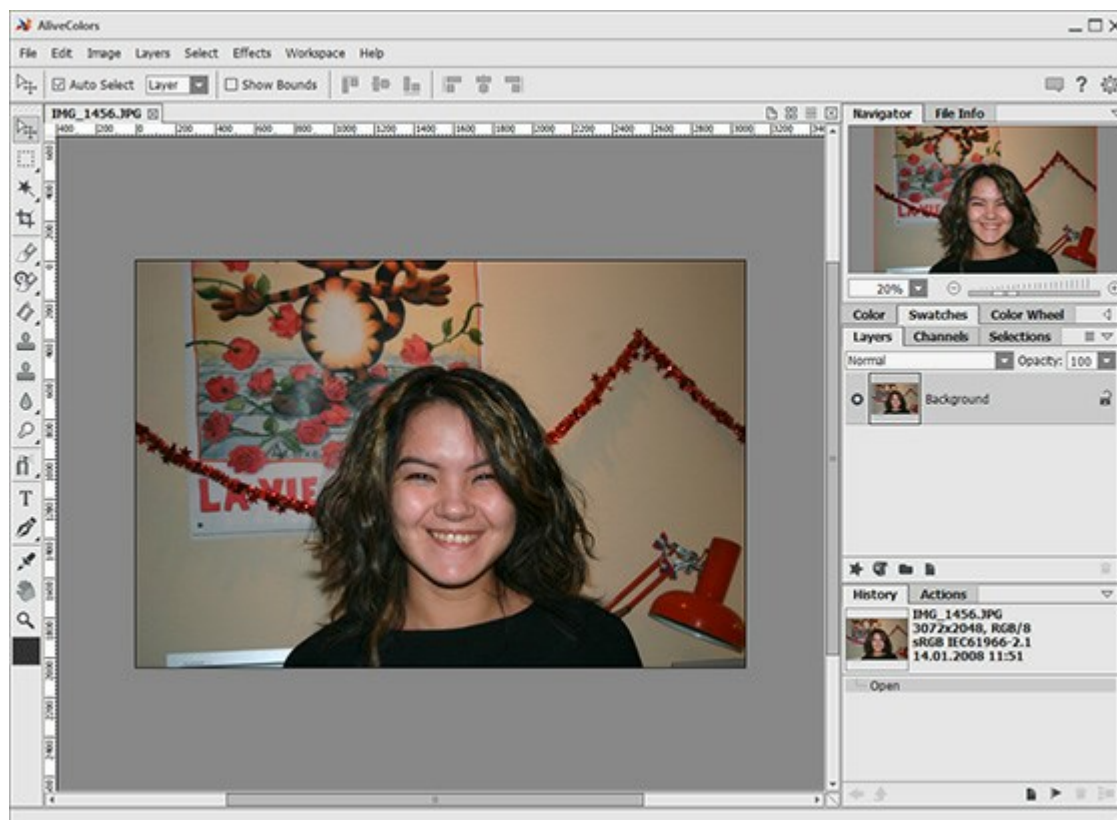
元の写真



背景の異なるイメージ
クリックすると、拡大表示

このサンプルは**AliveColors**で作成されたものですが、**AKVIS SmartMask** と[互換性](#)があるフォトエディターであれば、好きなものをご利用いただくことができます。また、SmartMask のスタンドアロン版を使用することもできます。

ステップ1: フォトエディターでイメージを開きます。



ステップ2: 新しいレイヤーにイメージをコピーします(レイヤーを複製)。

ステップ3: AKVIS SmartMask のプラグインを呼び出します。呼び出すには、[効果] > [AKVIS] > [SmartMask]を選択してください。

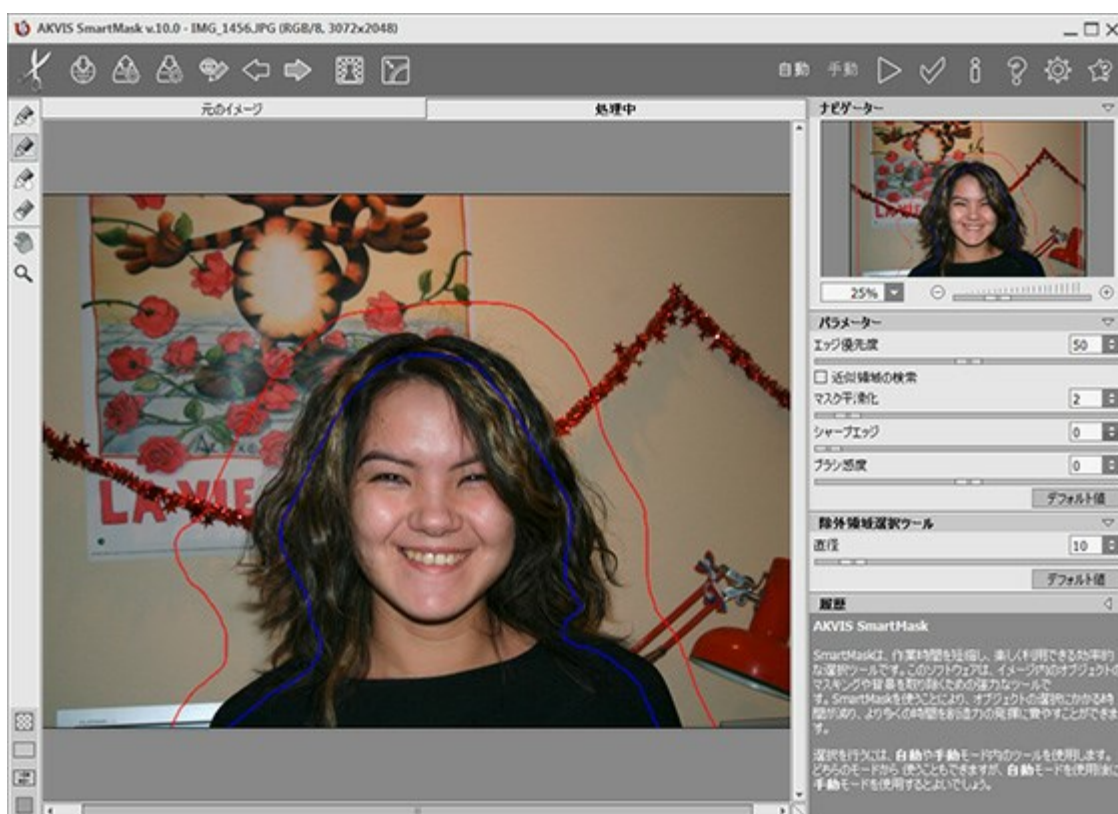
デフォルトでは、strong > 自動モードを使用するように設定されています。



ステップ4: 維持領域鉛筆  で少女の内側にアウトラインを描きます。



削除領域鉛筆  を使用し、背景にアウトラインを描きます。



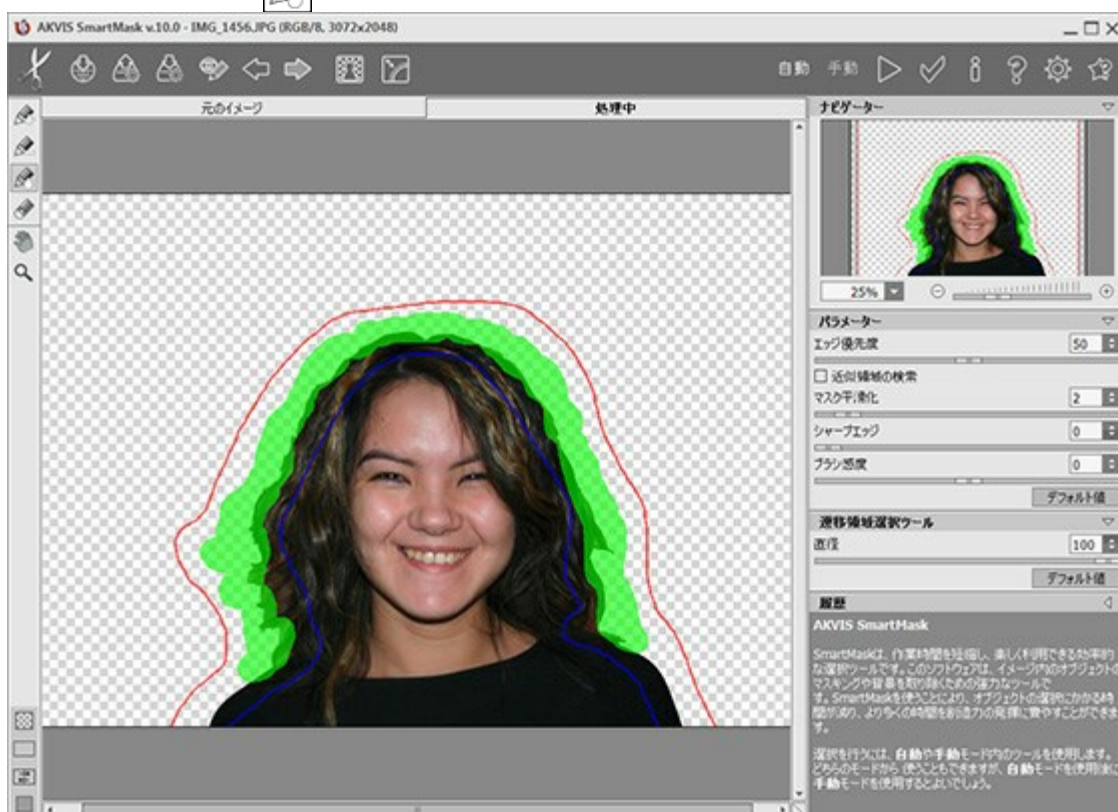
ステップ5:  をクリックし、イメージ処理を開始します。

イメージ処理は設定に応じて実行されます。描かれたアウトラインを考慮して、2つのゾーンが生成されます。赤色は削除される領域（この領域のポイントの透明度 = 100%）、青色は維持される領域（この領域のポイントの透明度 = 0%）です。



衣服は上手く切り取られていますが、全体的には満足いく結果ではありません。作業を続けましょう。

ステップ6: 遷移領域選択ツール  を使用して、サイズの変更や紙などの複雑な部分の描画を行います。



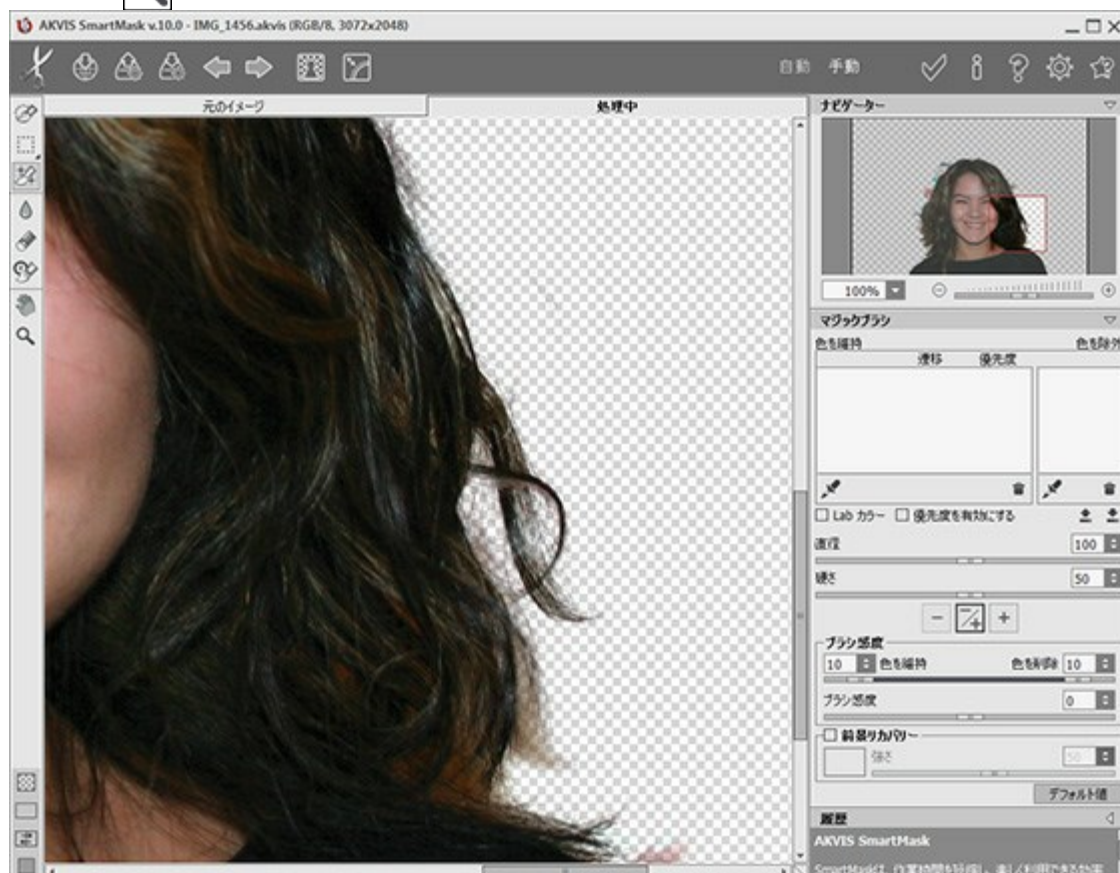
ステップ7:  をクリックしてイメージ処理を開始します。



実に良い結果になりました。次は背景の汚れを消しましょう。

ステップ8: 手動モードに切り替えます。処理結果をさらに編集して、より良い結果を得ることができます。

ステップ9: [ズーム]  を使用してイメージを拡大し、問題のある領域を加工します。



ステップ10: ワークスペース モードに切り替え、元の画像を処理結果の画像を並べて表示します。

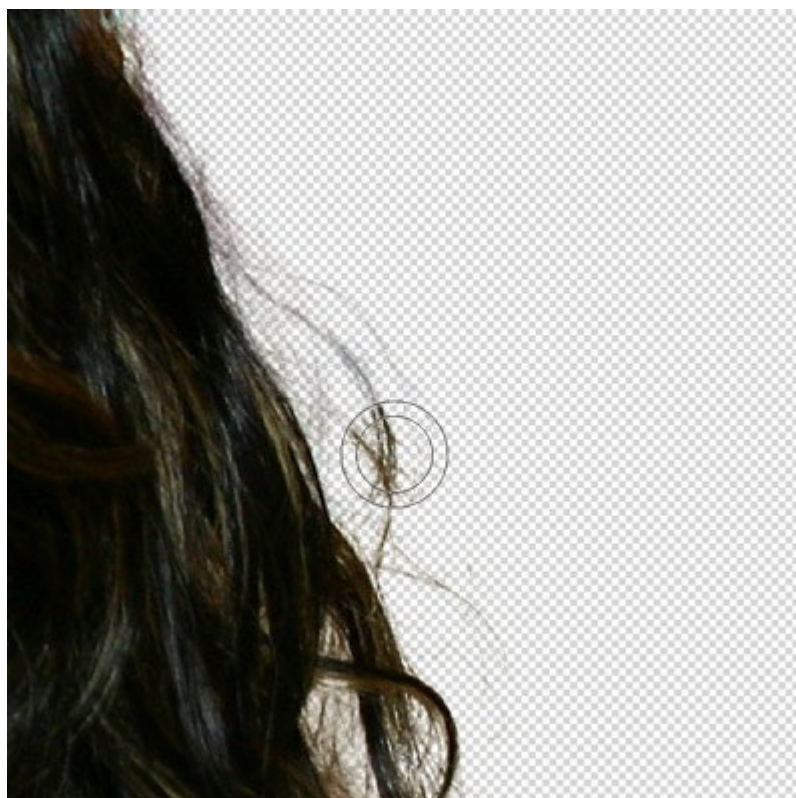
[マジックブラシ]  を有効にし、スポイトツール  を使って、**維持色**と**削除色**を選択します。**維持色**には髪の色、**削除色**には背景の壁の色を選択します。



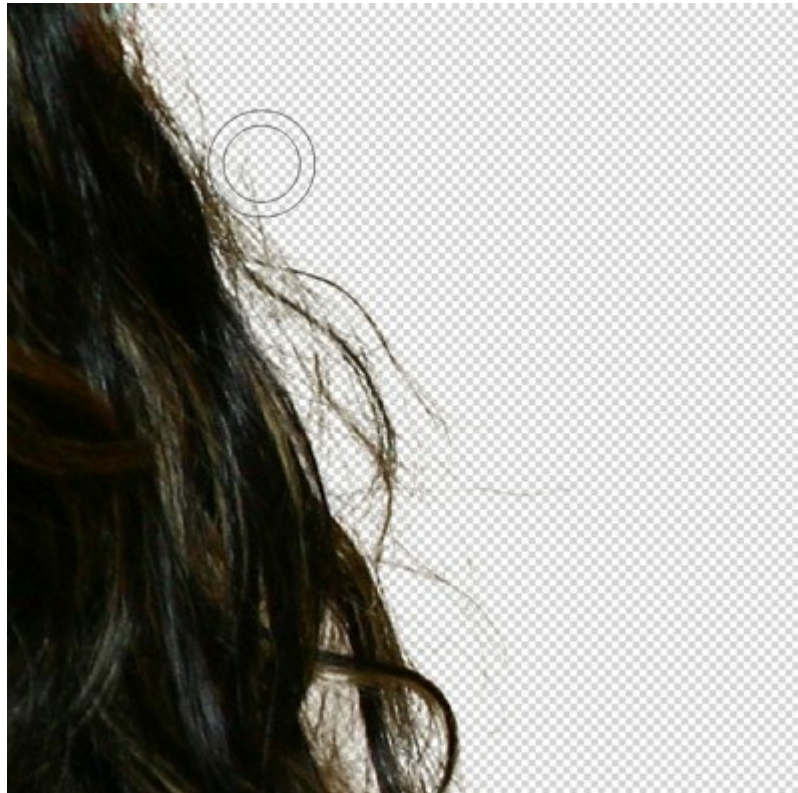
ステップ11: 維持&削除モードモードが有効になっています。

このモードでは、マジックブラシ  が、削除色フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを削除し、維持色フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを復元します。

【マジックブラシ】ツールを使用し、紙の上を描画します。

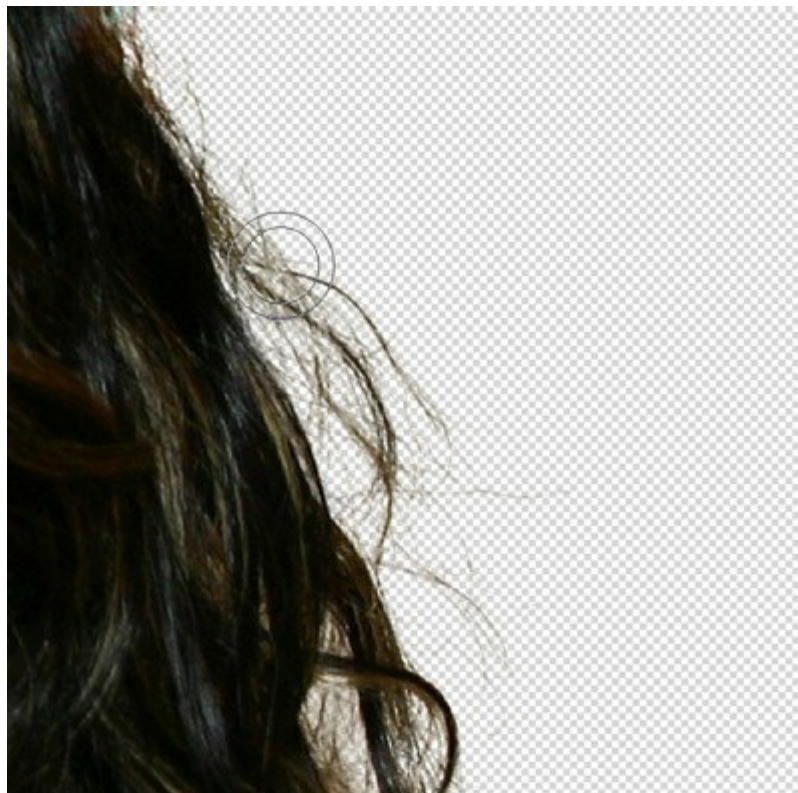


その結果は次のようになります。

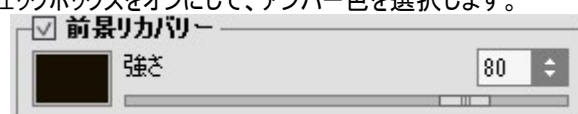


ステップ12: さらに加工して改善させましょう。

【感度】 パラメーターの値をあげて、もう一度髪の上を描画してみます。



ステップ13: 次に、[前景リカバリ]チェックボックスをオンにして、アンバー色を選択します。



再度、**【マジックブラシ】**を使用します。これで、髪も自然に見えます。



ステップ14:  を押して結果を適用します。

背景を自由に追加して、楽しむことができます。



AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

(Windows | Mac)

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

(Windows | Mac)

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。本ソフトウェアには、19 以上の基本的な効果が用意されており、効果版を無制限に作成することができます。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtWork — 写真から絵画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8 種類のペインティングスタイルを提供しています：油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。
[詳細情報](#)



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

(Windows | Mac)

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます：写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成)、いない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

(Windows | Mac)

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

(Windows | Mac)

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)





AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

(Windows | Mac)

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

(Windows | Mac)

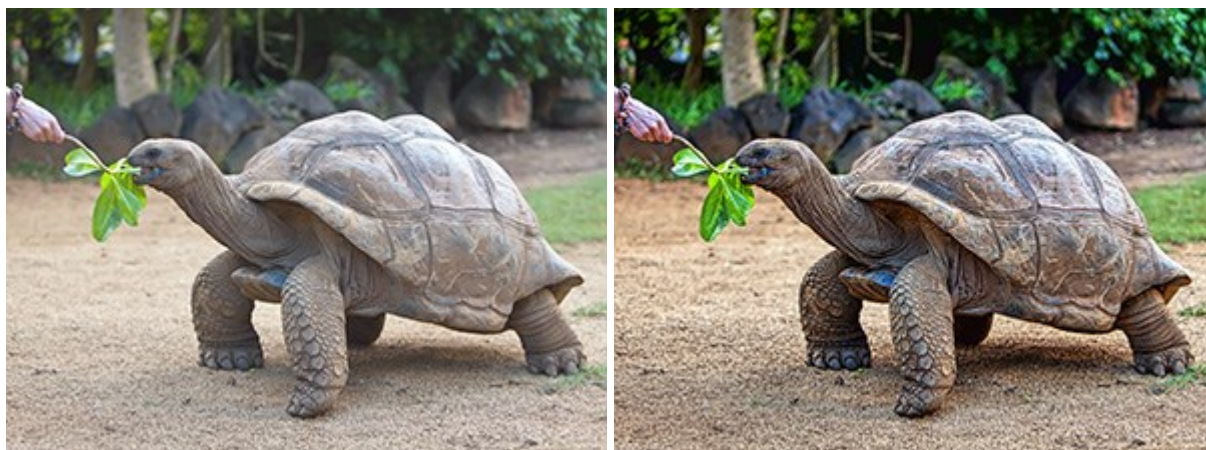
AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

(Windows | Mac)

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



AKVIS Frames — フレームパック

(Windows | Mac)

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ [詳細情報](#)



AKVIS HDRFactory — 実際よりも明るい画像に!

(Windows | Mac)

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



AKVIS LightShop — 光と星の効果

(Windows | Mac)

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雲に映る反射、暖炉の燃っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! [詳細情報](#)



AKVIS Magnifier — きれいに画像解像度を上げることができます！

(Windows | Mac)

AKVIS Magnifier を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifierは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 [詳細情報](#)



AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

(Windows | Mac)

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます！ [詳細情報](#)



AKVIS Neon — 写真を簡単にネオンのような発光した画風に加工できます！

(Windows | Mac)

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ [詳細情報](#)

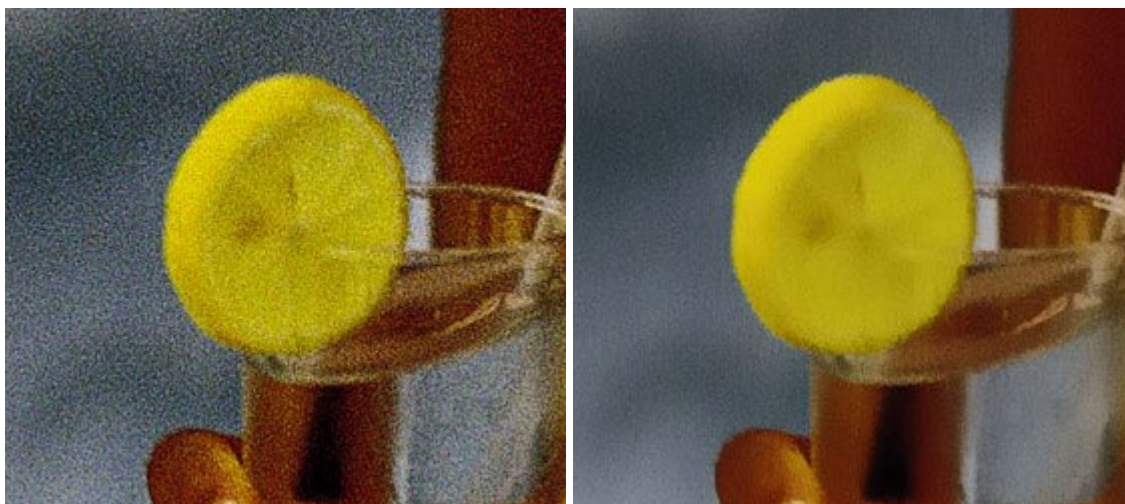


AKVIS Noise Buster — デジタルノイズリダクション

(Windows | Mac)

AKVIS Noise Buster を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することが

でき、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。デジタル ノイズが生じる要因はいくつか考えられます。カメラ マトリックスの加熱、長時間露出撮影、スモール ピクセル サイズ (これが原因で、デジタル コンパクト カメラを使用した場合、デジタル SLR よりもノイズの多い写真が生成されてしまう)、高 ISO 設定などがその要因です。 [詳細情報](#)



AKVIS OilPaint — 油絵効果

(Windows | Mac)

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

(Windows | Mac)

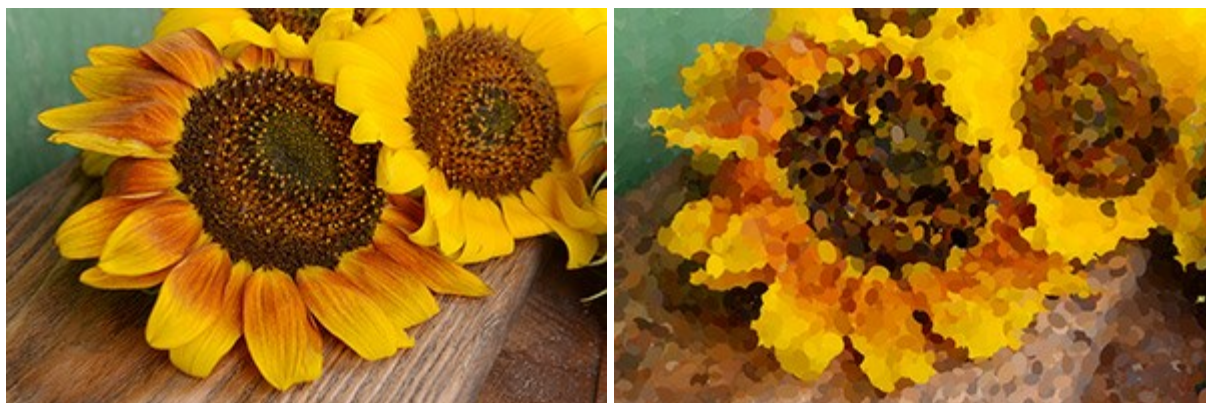
AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 [詳細情報](#)



AKVIS Points — 点描

(Windows | Mac)

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



AKVIS Refocus — ピンボケの修正とぼかし効果

(Windows | Mac)

AKVIS Refocus は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。はっきりした画像であっても、さらに改善できる余地は必ずあります。特殊な効果で特定の部分を目立たせるには、部分指定のツールを使ったピントの調整を行うことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

(Windows | Mac)

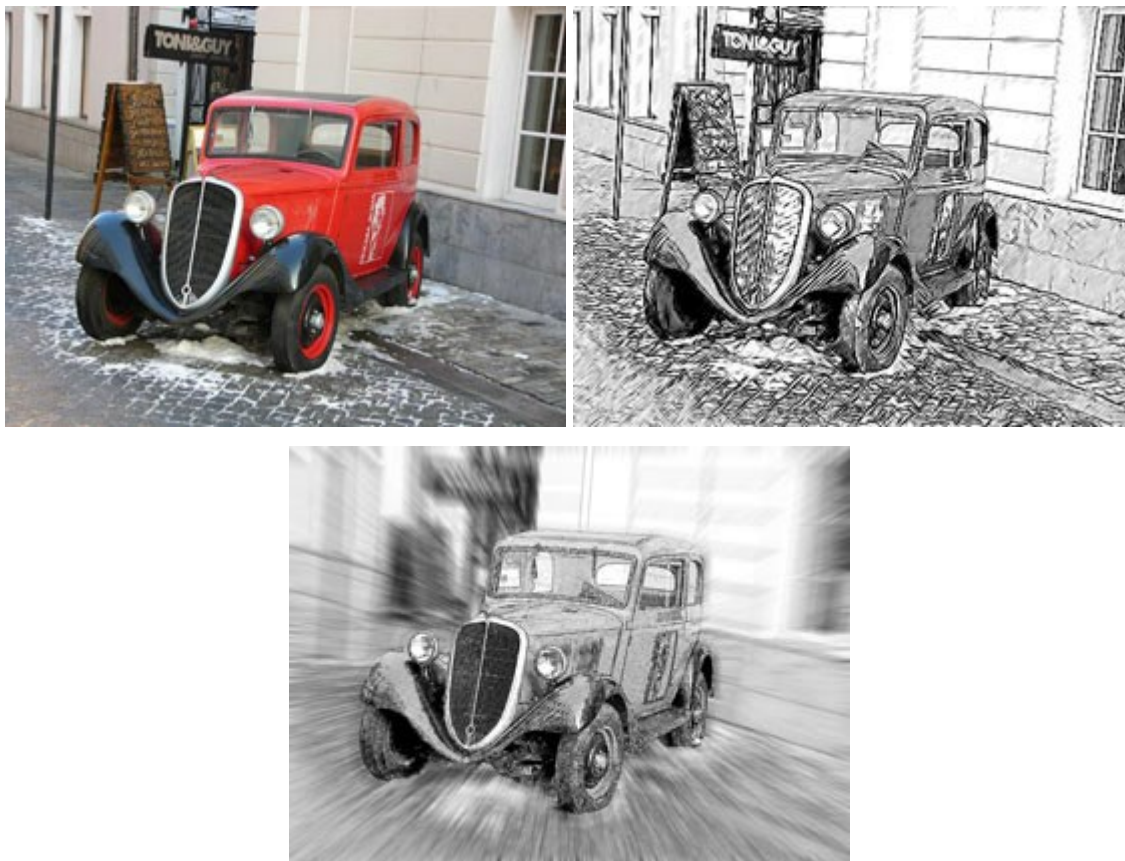
AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Sketch — 写真から鉛筆画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。 [詳細情報](#)



AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

(Windows | Mac)

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです！ 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Watercolor — 水彩画

(Windows | Mac)

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。 [詳細情報](#)

